

シンガポール日本商工会議所

MCI (P) NO.038/01/2022
Japanese Chamber of Commerce & Industry, Singapore
Website: <http://www.jcci.org.sg>



地政学をビジネス現場で 活用するための地域統括拠点のあり方

国際情勢の変化によって 注目を集めている地政学

最近、「地政学」という言葉を目にする機会が増えてきました。新聞やニュースでも日常的に地政学が取り扱われ、関連書籍も多く出版されています。ロシアによるウクライナへの侵攻や、中国と台湾の間の緊張などが、その原因と推察されます。

弊社への、ウクライナ侵攻のビジネスへの影響や中国リスクを加味したサプライチェーンの再構築に関する相談も、これまで以上に増えています。12月にJCCI主催でクロールシンガポール社と実施した地政学をテーマにしたセミナーにも、多くの方にご参加いただきました。

地政学をビジネス現場で活用することが 求められている

では、地政学をビジネス現場で活用するとは、どのようなことなのでしょう。多くの企業では、最新の国際情勢を把握して、短期的なリスクを回避することに力点を置いているように見受けられます。

もちろん、短期的なリスクを回避することは、企業が存続するために重要なことです。一方で地政学をビジネス現場で有効活用できれば、個別企業が自ら地理的条件や国際政治的条件を活用して、中長期的な成長を促進することができるようになります。

例えば、人工知能関連の技術を要するエンジニアは世界的に不足しています。しかし、ある企業では東欧に偏在している低価格のエンジニアに着目することで、ビジネス上の優位性を中長期的に築くことに成功しています。

地域統括拠点主導で2つの地図を作成する

地政学をビジネス現場で活用するためには、地域統括拠点が主導して、2つの地図を作成することが重要になります。

まず、世界中に分散している資源の偏在に関する地図を作成しましょう。それにより有事に発展する前に、ビジネス上のリスクを把握して対処することができるようになります。今回のウクライナ侵攻のように有事になってからでは打ち手が限られますが、平時から対策を検討しておくことで、様々な選択肢を持ってビジネス機会につなげることができるようになります。

次に、国ごとの地政学上のリスクに関する地図を作成することで、自社にとって重要な国のリスクを事前に把握することができるようになります。1つ目の地図と組み合わせることで、これまで気づかなかった自社にとっての機会を見出すこともできるでしょう。

弊社では、世界中の情報が集まりやすいシンガポールの地域統括拠点主導で2つの地図を作成するご支援に加えて、社内のビジネスインテリジェンス専門家の育成支援も行っています。



執筆者紹介

株式会社経営共創基盤 (IGPI) 共同経営者
IGPIシンガポール取締役CEO
坂田 幸樹 Kohki Sakata

シンガポールを拠点として政府機関、グローバル企業、東南アジア企業に対するコンサルティングやM&Aアドバイザー業務に従事。早稲田大学政治経済学部卒、IEビジネススクール経営学修士 (MBA) 近著に『アジャイル仕事術』(ダイヤモンド社)がある。

IGPIシンガポールについて

株式会社 経営共創基盤 Industrial Growth Platform, Inc. (IGPI) は東京に本社を置き、長期的・持続的な企業価値・事業価値の向上を目的とした『常駐協業(ハンズオン)型成長支援』を軸に、企業や事業の様々な発展段階における経営支援を実施しております。シンガポールでは2013年に設立以来、日本企業に加え、東南アジア各国の政府機関やスタートアップ企業など数多くのクライアントとの長期的な信頼関係を構築してまいりました。✉ info_singapore@igpi.co.jp

主な支援テーマ

- グローバル拡大
- 新規事業開発・オープンイノベーション
- 海外子会社の収益改善
- 地域統括拠点の機能強化
- 現地パートナーの探索・提携
- クロスボーダー M&A

2023
JAN

月報

CONTENTS

1 新年にあたって P2

- 1.1 シンガポール日本商工会議所 会頭
SUMITOMO CORPORATION ASIA & OCEANIA PTE LTD 藤 浩哉
- 1.2 駐シンガポール日本国特命全権大使
AMBASSADOR OF JAPAN TO SINGAPORE 石川 浩司

2 各部部长からのご挨拶／業界動向 P4

- 2.1 第一工業部会 部会長／理事
JFE STEEL ASIA PTE. LTD 谷口 晋一
- 2.2 第二工業部会 部会長／理事
MITSUI CHEMICALS ASIA PACIFIC, LTD 稲垣 隆之
- 2.3 第三工業部会 部会長／理事
CANON SINGAPORE PTE. LTD. 小林 一忠
- 2.4 貿易・運輸部会 部会長／理事
NYK GROUP SOUTH ASIA PTE LTD 久保田 浩司
- 2.5 金融・保険部会 部会長／理事
SOMPO INSURANCE SINGAPORE PTE LTD 菅原 哲夫
- 2.6 建設・不動産部会 部会長／理事
TAISEI CORPORATION 谷内 康弘
- 2.7 法人サービス・IT部会 部会長／理事
FUJITSU ASIA PTE LTD 富井 淳司
- 2.8 生活産業部会 部会長／監事
NIKKEI GROUP ASIA PTE LTD 渡邊 園子

3 広報委員会より P12

- 3.1 新年のご挨拶
JAPAN AIRLINES CO., LTD. 土橋 健太郎
- 3.2 広報委員会 メンバー一覧
- 3.3 2022年シンガポール主要ニュース一覧

4 経済の展望 P16

- 2023年ASEAN 域内展望
MU RESEARCH AND CONSULTING (THAILAND) CO., LTD. 池上 一希

5 寄付・奨学金贈呈式（JCCI基金） P21

- 5.1 シンガポール日本商工会議所基金「2022年度募金」へのご協力御礼 仙波 靖雄
- 5.2 シンガポール日本商工会議所基金「2022年度の寄付先」のご紹介
- 5.3 2023年派遣留学生について
- 5.4 JCCI基金提供先企業一覧

6 会員懇親パーティー P37

- 6.1 2022年会員懇親パーティー
- 6.2 2022年 ラッキードローご提供賞品一覧

7 活動報告・各種ご連絡 P43

- 7.1 理事会議事録（2022年11月）
- 7.2 入会承認会員一覧（2022年12月理事会）

8 JCCIイベント写真 P46

11月～12月 各種イベント写真

9 編集後記 P48

編集後記

月報題字：麗扇会 青木 麗峰
表紙写真：JETRO SINGAPORE 本田 智津絵
写真タイトル：誕生50周年でライトアップされるマーライオン像

JAPANESE CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY, SINGAPORE
10 Shenton Way # 12-04/05 MAS Building Singapore 079117
Tel: 6221-0541 Fax: 6225-6197 Website: <http://www.jcci.org.sg>

*本紙掲載の写真・記事を無断で転載・複写することは禁じられています。
All Rights Reserved. Any Reproduction of pictures and/or contents
without permission is strictly prohibited.

新年にあたって

シンガポール日本商工会議所 会頭
SUMITOMO CORPORATION ASIA & OCEANIA PTE LTD
Director, Executive Vice President, CFO & COO, General Manager of Singapore Unit
藤 浩蔵



シンガポール日本商工会議所の会員の皆様、あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2022年を振り返りますと、オミクロン株の感染再拡大に始まりましたが、世界各国は、その重症化リスクに鑑み、ワクチンのブースター接種を前提として各種規制を撤廃し「コロナとの共存」、いわゆる「ウィズコロナ」に舵を切りました。これにより国境を越えた人流もコロナ前の水準に徐々に戻りつつあり、希望的観測も含めていうと、2022年は「新しい状態（ニューノーマル）」の始まりの年と位置付けられるのではないかと思います。

一方で、春以降、ロシアのウクライナ侵攻に対する経済制裁の影響により物価上昇が加速、また大規模なロックダウンで中国経済が落ち込んだことから、経済活動は広範に亘り当初予想よりも大幅に鈍化しました。IMFの世界経済見通しによれば、世界の経済成長率は、2021年の6.0%から2022年は3.2%へ、2023年は2.7%へ鈍化する見込みで、世界金融危機と新型コロナのパンデミックが深刻だった一時期を除いて、2001年以降で最も弱い成長となるとしています。また、世界のインフレ率は、2021年の4.7%から2022年には8.8%に上昇、2023年には6.5%と予想されており、この点については、我々も日々の生活の中でもリアルに実感しているところです。

JCCIの活動に目を転じますと、8月に、フィジカルでは3年ぶりとなるリムASEAN事務総長とJETRO、ASEAN日本人商工会議所連合会との対話がジャカルタで開催され、進出日系経済会の要望書を提出しました。各部会では、フィジカルでのイベントを通じたネットワークングが順次再開、同時に、情報提供等を目的とした各種ウェビナーは引き続き活発に行われ、まさにフィジカルとWEBの各々のメリットを最大限に生かしたハイブリッドの活動様式が確立しつつあります。

多くのご意見をいただいた就労ビザについてですが、ご承知のとおり、Covid-19パンデミックと相

前後して、過去2年間、シンガポールの外国人労働者に対する就労ビザの発給基準は厳格化の一途を辿ってきました。2023年9月からは新たなポイント制度「COMPSSS」が追加導入される予定です。シンガポール人にはない能力やスキルを持ち、シンガポールに貢献できる高度な人材を受け入れていくという国の方針は合理的かつ頷けるものだと思います。また「COMPASS」は透明性の高いシステムで、従来、時としてクリアーではないと思われた審査基準が明確化され、期間も短縮されることは大きな前進です。一方で、現時点で多くの進出日系企業が、将来の人材確保に少なからず不安を抱えているのも事実であり、JCCIでは、昨年2度にわたりシンガポール人材開発省との対話の機会を持ち、我々の感じている懸念を率直に伝えてきました。そして、11月には、タンシーレン大臣と会員企業とのdialogueが実現しました。これらの対話を通じた収穫は2つあり、1つは、大臣自ら日本企業に対する期待、サポート的なコメントを多くいただいたこと、2つめは、JCCIとしてMOMとパイプができ、何か困ったことがあれば何時でも実務レベルで相談できる土壌ができたことです。「COMPASS」の詳細はこれから明らかになっていきますが、今後、国の基本方針を踏まえた上で、まさに適材適所の観点で就労ビザ取得に困難が生じた際は、遠慮なくJCCIにご相談ください。我々の率直な声を届けることはシンガポールの更なる発展にも寄与すると思っています。

2023年は、癸卯（みずのとう）の年となります。「癸」と「卯」の組み合わせから、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると言われています。過去2年間、コロナ禍で我々が発揮してきたレジリエンスを、今世界で起こっている様々な出来事の下でも発揮し、2023年を最高の年にしましょう。

末筆となりましたが、シンガポール日本商工会議所の会員の皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

駐シンガポール日本国特命全権大使
AMBASSADOR OF JAPAN TO SINGAPORE
石川 浩司



シンガポール日本商工会議所の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年10月24日に駐シンガポール日本国特命全権大使として着任しました。改めまして、皆様にご挨拶申し上げます。数年前に本省でシンガポールを含む東南アジア地域及び南アジア地域における日本の外交政策を総括する役割を務めておりました。この経験を活かし、3万6000人を越える在留邦人の皆様が安全にそして安心して生活していただけるよう努めてまいり所存です。また、シンガポールはインド太平洋地域の貿易・金融・交通のハブであり、多くの日系企業の皆様が地域統括本部を展開・強化等しております。当館として、当地でご活躍されている皆様の活動を引き続き支援してまいります。

昨年は、数年間続いた新型コロナウイルスに伴う規制が大幅に緩和された年となりました。昨年10月には外国人の日本への入国制限も緩和され、早速多くのシンガポール人が日本に渡航しており、国際的な人の往来が活発になっています。JNTO（日本政府観光局）の昨年11月時点の推定値によれば10月の訪日客数は前年比20倍以上となっています。また、着任後、当地における様々なイベントに御招待いただきましたが、新型コロナウイルスの影響を感じさせないほどたいへん賑わいが戻っています。コロナ前の状態に戻るだけでなく、高みを目指して、より強いポストコロナ社会をいかに作り上げていけるのか、まさに今年が正念場です。新型コロナウイルスによる大きな打撃を受けた企業の皆様にとり、今年が飛躍の年となることを心からお祈り申し上げますとともに、大使館としても全力でサポートして参りたいと思います。

他方、世界に目を向ければ、緊迫した情勢が続くロシアによるウクライナ侵略、世界規模の物価高、エネルギー・食糧危機、温暖化による気候危機など、多くの困難が立ちはだかっております。このような世界情勢を背景に、日本が直面する難局を乗り越えるため、岸田総理のリーダーシップにより、新しい資本主義の旗印の下、未来に向けて日本経済を

持続可能で一段高い成長経路に乗せていくための取り組みが進められています。昨年10月28日には、大型の総合経済対策が決定され、円安を活かした、コロナ禍で失われた5兆円のインバウンド需要の復活、半導体や蓄電池などの戦略物資のサプライチェーンの再構築、攻めの国内投資拡大による最先端製造立国日本の復活、輸出拡大などを図ることとし、スタートアップ、GX、DXへの投資拡大、イノベーションの原動力となる人のリスクリング、物価高対策などを含め、合計で39兆円程度の財政措置を実施することといたしました。このような取組が、日本企業の皆様の投資促進、成長拡大の後押しになることを願っております。特にシンガポールは地域のハブであり、多くの会員企業の皆様が地域全体でご活躍されています。ぜひ、官の政策を呼び水としていただき、この地域における思い切った人・イノベーション・GX・DX等への投資促進をお願い申し上げます。当館としてお力添えできることがありましたら遠慮なく御相談ください。

昨年は、スポーツの世界では若手選手が偉大な記録を作った年でもありました。ロッテの佐々木朗希選手がプロ野球史上最年少で完全試合を達成し、また、ヤクルトスワローズの村上宗隆選手が日本選手シーズン最多56本塁打、史上最年少での三冠王、プロ野球新記録となる5打席連続本塁打など数々の記録を打ち立てました。シンガポールでも新潟アルビレックスが23歳以下の日本人選手を多数引き連れ、当地でリーグ優勝を飾っております。次世代を担う若手の成長は日本の宝です。日本企業の若手の皆様もこれまでの記録やしがらみを打ち破るような大きな活躍をされることを期待しております。

最後になりましたが、昨年は、安倍元総理の逝去に際し、多くの方から心のこもった弔意をいただきました。この場をお借りし御礼申し上げます。

シンガポール日本商工会議所の益々のご発展と、会員企業の皆様のご多幸、ご健勝を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

第一工業部会 部長／理事
JFE STEEL ASIA PTE. LTD
Managing Director
谷口 晋一



シンガポール日本商工会議所の会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

改めて2022年を振り返りますと、年明けにはコロナによる行動制限がまだ継続しており、新しい年がどんな年になるか行く先がはっきり見えない感じの年明けでした。シンガポールでも年初はまだ在宅勤務が原則とされてオフィス勤務も制限され、外食人数の規制なども当たり前のことのように残っておりました。月を追うごとに、行動規制が緩和され、入国規制が緩和され、大人数のイベントも再開され、と生活が大きく変化していった1年だったと思います。F1も開催されたのは記憶に新しい所です。おそらく会員の皆様も足元ではシンガポールを拠点にアセアンを中心に海外に出張されることも増え、また出張者を迎えることも増えてきて、コロナ以前の業務の有り様に戻ってきておられることと思います。

コロナの状況は行きつ戻りつではありますが、ほぼ自由に外出ができるようになり、抗原迅速検査(ART)などを用いて自衛をはかりながらも感染に気を付けながらの新たな生活スタイルが確立してきました。経済活動の面でも社会生活の面でもいわゆる「withコロナ」に本格的に移行していった年として後になって思い起こされるのではないのでしょうか。

コロナの規制が緩和される中で、事業を取り巻く環境も変わってきたのを感じております。第一工業部会には機械・金属・エンジニアリングの各業種の皆様が所属されておりますが、やはり製造業として、環境面、特に「脱炭素」の動きがより進んできていることを肌身で感じる機会が多くなりました。シンガポールでは「グリーンプラン2030」が発表され、炭素税増税の方向が示される等の変化がありましたし、ネットゼロの目標期限も前倒しされました。実際にお客様との会話でも話題に上ることが増えてきています。気候変動によるリスクは日に日に

現実のものとなってきている中、その影響をできるだけ軽減するよう努めることは各国政府・各企業の責務だと思いますし、日系企業各社の取組みがより加速していくことを期待したいと思います。

もう1点としては、米中対立の継続、中国の経済停滞に加えロシアのウクライナ侵攻などにより、サプライチェーンへの影響が前年から継続して大きな年でした。資源・原材料の高騰や半導体不足、更に物流面も含め実際のオペレーションでも対応に追われることも多かったことと思います。これらの変化は一過性の動きではなく市場の構造変化としてとらえ、その変化への対応が急務と思われれます。

昨年の第一工業部会の活動としては、オンライン主体の活動からFace to faceの活動に移行しました。4月の部会総会、6月に主催したセミナー「第2ステージに突入した東南アジアのスタートアップ」はいずれもオンラインで開催させて頂きました。コロナ規制の緩和に伴い、8月に実施した第一工業部会の夕食会も対面で実施することができました。部会活動としては2年以上ぶりの直接会っての機会でも、コロナ後に赴任された初参加の方も多くおられ改めて挨拶をしたり、旧交を温めたりと会話に花が咲きました。その後も他部会との共催での企画も開催し、JCCI第一工業部会としての活動も本来の形に戻ってきたことを実感しております。この場をお借りして参加頂きました皆様に感謝するとともに、サポート頂きましたJCCI事務局の皆様に御礼申し上げます。

新たな2023年は、変化する事業環境の中で部会員の皆様との連携を大切にしながら、日本企業としての存在感を強めていくことを目指してJCCIの活動を更に盛り上げていきたいと思っております。最後になりましたが、皆様の健康を祈念し、本年が更なる発展の年となることを願って、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

第二工業部会 部会長／理事
 MITSUI CHEMICALS ASIA PACIFIC, LTD
 Managing Director & CEO
 稲垣 隆之



皆様、明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

小職は昨年4月に日本からシンガポール赴任となりました。今回の海外赴任は米国、泰国に次いで3度目となります。同時にJCCI第二工業部会の部会長を拝命致しました。当部会は、126社の法人会員、1名の個人会員で構成されております。22年度はオンライン会議だけでなく、11月には3年ぶりのFace-to-faceでの懇親会も実施できました。23年度は、より活発な活動を企画して参りたいと思いますので、皆様のご支援、ご参加をお願い申し上げます。

シンガポールに赴任してまだ間もないのですが、赴任して感じていることは、

- ①世界はダイナミックにスピーディに動き続けているが日本の動きは遅い
 - ②日本は最高のサービスを魅力的な対価で享受できる素晴らしい国である
- の2点です。

上手く説明はできませんが、日系企業である価値、日系企業であることの懸念点を再度見つめ直すことで我々は飛躍的に成長できるのではないかと感じています。

22年の大きな出来事としてロシアのウクライナへの侵攻があります。この戦争は主権と領土保全を侵すものであり、ロシアと他の国家との間に深い敵意を生み、既に緊張状態にあった米中関係やアジア太平洋の安全保障にも影響を与えています。戦争によってエネルギー価格が上昇し、穀物の不足と価格高騰が発生し、特殊ガスの供給停止が半導体事業の操業低下を招く等広範囲に渡って経済活動に悪影響を及ぼしています。国際的な経済状況は大きく悪化し、中国の成長と輸出は減速、各国は自国のサプライチェーンを見直し、弾力性と自給自足を優先するように変化しています。戦争の行方は分かりませんが、あらゆる状況に対処できるように準備を進める必要があります。

我々の進むべき一つの方向として、シンガポール政府には学ぶべき点もたくさんあると感じています。一つは新型コロナへの対応です。4月より規制を徐々に緩和し、感染拡大を冷静に捉えて、見事にWithコロナの体制を実現し、経済活動をコロナ前の状況に戻りつつあります。シンガポールは近隣諸国の良いお手本となり、東南アジア地域での規制緩和促進に貢献しております。政府が将来の方向性を明確に示し、周知することもよいお手本になると思います。チャンギ空港の第5ターミナル計画、メガトゥアス港計画、パヤレバー空軍基地の移転と開発計画等は将来のシンガポール発展を期待させるものとなって国民に受け入れられています。

21年11月に発表された「サステイナブル・ジュロン島」は、第二工業部会の多くの化学企業会員にとって大きな指針となるものです。国連が気候変動を世界最大の脅威と位置づけている現在、国際機関や各国政府が相次いで、サステナビリティに関する政策、枠組み、規制を強化しております。こうした世界的な動きを背景に、東南アジア最大の化学・エネルギー産業の集積地であるジュロン島でCO2排出量の大幅な削減や、持続可能な製品の生産量の引き上げの目標を定め、その実現に向け、シンガポール政府とジュロン島進出企業が連携し、研究開発やインフラの構築を急ピッチで進められています。脱炭素化とCO2排出量削減を支援するために、「生産性改善助成金 (REG <E>）」と「排出削減投資控除 (IA <ER>）」の2つの優遇措置を講じています。両制度は2021年に適用範囲を拡大し、エネルギー効率の改善やCO2以外の温室効果ガスの削減にとどまらず、分離・貯留したCO2を利用するCCUSなどを含むことになりました。シンガポール政府による明確な意思表示は我々にとっての良い指針となります。

最後に、第二工業部会の活動にご支援、ご協力いただいております全ての会員の皆様に心より御礼申し上げます。皆様にとって2023年が実り多き一年となりますよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

2023年頭にあたり

第三工業部会 部長／理事
CANON SINGAPORE PTE. LTD.
President & CEO
小林 一忠



新年あけましておめでとうございます。JCCI会員の皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

2020年頭より、世界を震撼させたコロナウイルスによる影響も、先日、WHO事務局長が終息に向けて、見通しを発表したことで、新たな局面に入ったと理解しております。今後は、慎重な対応を維持しつつも、通常の経済活動に向かっての回復プロセスが進むのではないかと期待しております。

この3年の時間において、産業界は多くの“授業”を受けたのではないのでしょうか？ ITシステムを駆使したコミュニケーションの手法により、ウイルス拡散を防ぐだけでなく、より効率的な意思疎通が可能であることを実体験し、それをさらに、使い勝手よく発展させてきました。リモートでの業務とオフィスでの仕事が効率的に連結するようなツールも次々に発売され、より新しい形の労働環境が整いつつあります。

一方で、対面による対話の重要性と、そこからしか得られない、発想力を、規制緩和後に感じた会員の皆様も多かったのではないかと思います。まさに、これからは“ハイブリッド”な労働環境を使い分ける器用さが求められる時代になると考えております。40年以上前に社会人となり、最初にやった仕事が東京・神田のオフィス街で、複写機を訪問販売することだったことから、個人としては“現場体験”こそが、仕事の判断の基礎になると信じてきましたが、この3年間のコロナ体験は、私に新しい視点と方法を教えてくれました。人類の歴史を見ても、大きな変化は外部要因によって引き起こされていますが、今回も、その一例かと考えます。

2023年年頭にあたり、心はコロナ以前の状態に早く戻したいと、はやります。しかしながら、

VUCA (volatility, uncertainty, complexity, and ambiguity) の時代と言われる中で、急ぎすぎは、誤った判断を招く危険性も、心のどこかで感じております。私は、南・東南アジアにおける23の国と地域を担当しておりますが、各地域には、独自の文化、経済動向があり、“適策適所”をもってすれば、相互補完的な効果を期待することができます。もちろん、それには、各地域の特性を熟知しなくてはならず、現地に足を運ぶことも必須ですが、この多様性のメリットを生かして、2023年、不確実性の時代に向かっていきたい考えです。去年は4月頃より、海外への出張が可能となり、ようやく、各地域の現場を訪問することができましたが、今年は、さらにネットワークを広げ、アンテナをしっかりと立てて、市場の動きを把握していきたいと思っております。

第三工業部会においては、今年度初期より、懇親会、ボーリング大会などの活動を通じて、会員間の意思疎通を図ってまいりましたが、2年以上も対面での交流がなかったため、失われてしまった、実感のあるコミュニケーションを取り戻すことができたのではないかと感じています。3月までの年度内においては、さらに、実務に近い内容の企画を立案し、部会員の皆様のお役に立ちたいと考えております。会員の皆様におかれましても、是非、要望される活動などがありましたら、遠慮なく、私または、理事メンバーにお知らせいただければ幸いです。皆様と一緒に部会を盛り上げていきたいと思っております。

まだ、先の見えにくい状況ではありますが、この機会に、新VUCAをVision, Understanding, Courage, and Adaptabilityと定義し、VUCA2.0として、新年を踏み出したいと考えております。

新年のご挨拶

貿易・運輸部会 部長／理事
 NYK GROUP SOUTH ASIA PTE LTD
 Managing Director
 久保田 浩司



シンガポール日本商工会議所会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのことと存じます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、コロナ禍の影響が残る中、当地においては、徐々にではありますが、ウィズコロナの生活を確立していく1年だったと思います。私のシンガポール赴任は昨年4月。幸いなことに隔離義務の解除直後であり、また懇親会の人数制限等も順次緩和されてくる中で、新しい仕事を始めることができました。

8月のナショナルデイラリー（National Day Rally 2022）のスピーチにおいて、リー首相から、政府のコロナ対策に対する国民への感謝と自信の表れ、さらには学校の授業においてはマスクの着用は必要ではないという発言を含むマスク着用についての新しい方針が示されました。シンガポール政府のコロナ対策に対する強い自信と今後のコロナとの共生に対する決意を感じた次第です。

JCCI活動につきましては、貿易・運輸部会長として、9月にPSAコンテナターミナルの見学会を企画・開催いたしました。当時はまだコロナの影響があったせいか、PSAからの日程の通知が直前であり、短期間のご案内となり、会員の皆様にはご都合がつかない方も多く、ご迷惑をおかけした点はお詫び申し上げます。ただ参加された方におかれましては、コンテナターミナルの見学およびその後の懇親会を通じて、皆様とのつながりを改めて深めていただけたのではないかと感じております。

新しい年はどのような年になっていくのでしょうか。昨年は、気候変動への対処もさることながら、ロシア・ウクライナ情勢やエネルギー・食料安全保障問題に加え、インフレや世界的な金融引き締めによる金利上昇等、グローバルなレベルでの幾つもの大きな課題に直面しました。

これらの課題は継続しており、引き続き不透明な情勢から、なかなか将来を見通すことが難しい中

で、課題への対処とそれに伴う変化への備えが必要な時代でもあります。

そんな中で当社グループのおかれている運輸関連業界では、「脱炭素、デジタル化、人材の育成」が引き続きの課題であり、とりわけ、脱炭素が本年においてもキーワードとなります。ここシンガポールでも、脱炭素への取り組みは加速されおり、次世代燃料としての水素やアンモニア等に加え、合成燃料やメタノールとともにCO2回収や風力や潮流といった再生可能エネルギー開発への取り組みが引き続き、その中心になります。

加えて、都市国家であるこの国が将来においても高い競争力を維持し、持続的な成長を実現する為の戦略には特筆すべきものがあります。National Day Rally 2022のスピーチにおいては、トゥアスコンテナターミナルとチャンギ空港（Tuas Port and Changi T5）についての言及もありました。キャパシティを拡充するとともにその競争力を高め、国際海運と国際航空のハブの地位を譲らないという決意を示しています。長期的な視野に基づく大胆な計画とその着実な実行を進めていくシンガポールの関係者の強い意志とその実行力に改めて敬意を表するとともに、見習うべきものは真摯に見習いたいと感じています。

2023年の干支は癸卯（みずのと）となります。飛躍を象徴する卯（うさぎ）の年であり、十干の10番目である癸（みずのと）には、「地ならしを行い、新たな生長につなげる」という意味があると言われています。まだまだ地球規模の課題に直面し、不透明な情勢が続きますが、これらの課題への解決の兆しが見え、将来の成長への「地ならし」が進み、「飛躍」へとつながる年となる事を祈念しています。

最後となりましたが、JCCI会員の皆様とご家族のご健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。改めて本年もよろしくお願ひします。

新年のご挨拶

金融・保険部会 部会長／理事
SOMPO INSURANCE SINGAPORE PTE LTD
Managing Director
菅原 哲夫



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新春を迎えられましたこととお慶び申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、コロナの影響は続いたものの、各国において経済・社会活動との両立により国内外において人の活動や往来が進み、シンガポールの街並みも活気が戻ってまいりました。シンガポール国内においてもワクチン接種の浸透、ART検査による自己チェック、在宅とオフィスのハイブリット勤務など、国・民間それぞれにおいて迅速な判断がなされ、状況に応じて臨機応変に対応するこの国の姿が垣間見えたことと存じます。金融保険部会においても、久しぶりに対面での部会活動を再開することができ、顔を合わせて活動することの楽しさを味わうことができました。引き続き、変異株の発生等の状況には注意しつつも、コロナへの対応力が高まり、経済活動がさらに活発になることを期待しております。

一方、昨年2月にはロシアによるウクライナ侵攻が始まりました。この出来事は、コロナと共にこの数年で私たちが受けた大きな衝撃の一つだと思います。現地の映像に衝撃を受けるだけでなく、エネルギー価格の高騰や食料危機の懸念など、各国の経済や人々の生活に大きな影響が生じました。そして、この軍事的対立や大国間の緊張の高まりにより、将来、新たな国際秩序を目の当たりにすることになるのか、この局面がグローバル化の変容という歴史の転換点となるのかなど、懸念される状況に対して引き続き向き合うことが求められていることと存じます。昨今、VR（仮想現実）の世界では様々なコンテンツが作られ、人々は自分のお気に入りのコンテンツを楽しめる時代が到来しました。自然災害や疫病など私たちが抗えない事象は起こりうるものですが、紛争や対立のような人間が作り出す災禍は、

VRではない現実世界においては知恵や対話により解決されることを願うばかりです。

また、昨年も世界各地で水害や熱波が発生しました。ここ数年は毎年のように世界各地で風災や洪水、干ばつや森林火災の映像を目の当たりにするようになりました。コロナや国家間の対立だけでなく、私たちは気候変動という地球規模の課題にも直面している状況下、国際協調の重要性がかつてなく増しており、難しい課題がある混迷の時代こそ、安心・安全な社会づくりのために国や人々が連帯してその課題に臨むことが必要ではないでしょうか。

不確実な環境のことばかり申し上げましたが、2023年は、3月にワールドベースボールクラシック、7月－8月にサッカー女子ワールドカップ、9月－10月にラグビーワールドカップと多くの人々が集う国際的スポーツイベントが開催予定です。スポーツだけでなく、文化・芸術、ビジネス等、様々な分野・地域でイベントが開催されることと存じます。これらのイベントが経済効果だけでなく、国や人々の交流により多様性への尊重が進むとともに、私たちに明るい話題、興奮や歓喜をもたらしてくれることを期待しております。

そして2023年は、十干十二支で癸（みずのと）卯（う）の年で、育んできたことが実り芽吹き始める年という意味があるようです。ここ数年の困難な環境が、デジタル化の進展、サプライチェーンの強化、ハザードマップ等のリスクの可視化など、私たちの生活や経済活動に進化や対応力をもたらしたとも言えるのではないのでしょうか。私たちがこの厳しい環境で育んできたことが芽吹き、今後ますます発展し、明るい一年になることを切に願っております。

最後になりますが、本年が皆様にとりまして素晴らしい年となることを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

建設・不動産部会 部会長／理事
TAISEI CORPORATION
General Manager
谷内 康弘



あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

2020年以降、新型コロナウイルスの影響によりオンラインでの活動が続いて参りましたが、感染の抑制、規制の緩和に伴い、昨年は対面での活動を再開することができました。本年もフィジカルな活動・交流を増やししながら、会員企業様の活動に少しでも貢献する活動を継続したいと考えております。

1. 2022年度活動報告

昨年は7月にオンラインセミナー「ASEANのオフィス及び物流不動産マーケット動向」および「シンガポール賃貸住宅（コンドミニウム）マーケットの最新動向」を行ったほか、10月には部会所属企業様による懇親会を実施、合わせて2つのイベントを開催いたしました。

前者のセミナーはシンガポールを含むASEANのオフィス、物流不動産の供給量や価格などについて、withコロナにおける現況を解説いただくとともに、賃料高騰が顕著なシンガポールのコンドミニウム市場の背景・要因と今後の見通しについてご講演いただきました。

また、2022年度の活動について会員企業様からの希望を伺った際、他の会員企業様との交流を期待するとのことが多かったので、当部会として約3年ぶりのフィジカルな交流の場として懇親会を開催いたしました。

2. 2022年のシンガポール建設市場

シンガポール建築建設庁（BCA）は、2022年1月26日に、2022年のシンガポールの国内建設受注額が270～320億シンガポールドルとなるとの予想を発表しました。2021年国内建設受注額は299億シンガポールドルでしたので、同程度の規模と想定されています。

また、シンガポール貿易産業省（MTI：Ministry of Trade and Industry）は2022年10月14日に、シンガポールの2022年GDP成長率（予想値）を4.3%と発表しました。その中身を産業別に見ると、建設業は7.8%となっており、他産業よりも高い水準での成長が予想されています。

数字上は堅調に見える建設市場ですが、新型コロナウイルスの流行により惹起された建設作業員の不

足、建設資材の価格高騰、そして昨年2月24日に始まったウクライナ戦争によるエネルギー、資材価格の高騰や品不足などの影響による上振れと思われる、施工面においては逆風下の状況にあります。

3. 2023年以降のシンガポール建設市場

BCAは2023年～2026年の中・長期国内建設受注額を250～320億ドルの間で推移するとの見込みを示しています。公団住宅の新築・改修やトアパヨ地区再開発、アレクサンドラ病院やベッドockエリアの病院開発、クロスアイランド線第2期、第3期工事やダウンタウン線延伸などの大規模公共工事がけん引し、堅調に推移するとの見立てです。

なお、上記の予測には、チャンギ空港第5ターミナル及び統合型リゾート施設（IR）の建設需要は含まれておらず、withコロナに移行した中、航空需要、観光需要の回復に伴い関連プロジェクトが再始動すれば、更に上振れすることが予想されます。

その様な中、シンガポールの中央銀行に当たる通貨金融庁（MAS）は建設業について、2023年も労働力不足と建設資材の高騰が重荷になるとの観測を示しています。また、それに加えて外国人ビザ発給ルールの変更により、エンジニア等の雇用がより困難になることも予想され、オペレーションの面で厳しい状況が続くものと思われます。

環境面では、2021年2月に公表された包括的な環境行動計画「Singapore Green Plan 2030」を受けて、BCAにより2022年7月にSingapore Green Building Masterplanが第4版に改訂された他、9月にはBuilt Environment Industry Transformation Map（BE ITM）も改訂されました。また11月に開催されたCOP27に際し、国家目標として2050年までにネットゼロを達成すると発表し、従来からの計画を前倒しました。建設分野における持続可能性への行動計画が次々と策定される中、国家目標が前倒されたことで、業界としてもCO2排出量削減への動きが益々求められるものと思います。

これらの情勢について、セミナーや意見交換などを通じて理解を深め、会員企業様のより良い未来に向けた一手に貢献できればと思います。

本年が皆様にとってより良い年となることを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

法人サービス・IT部会 部会長／理事
FUJITSU ASIA PTE LTD
Vice Head, Asia Region Delivery
富井 淳司



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

早いもので、私がシンガポール着任して1年が経ちました。昨年末は、入国制限、入国後の隔離、市中（職場含む）でのコロナ規制が残っていましたが、年明けからは、シンガポール政府の方針変更により、一気に緩和が進みました。それに伴い、我々の生活も以前に戻ったものがある一方、「リモートワーク」の継続など、新しい生活スタイルが始まりました。我々の部会等の活動も、リモートから、対面やハイブリッド（リモート&対面）に、少しずつ変わってきました。

①部会活動の振り返り

少し、これまでの活動を振り返らせて頂きます。今年度は、3つの活動を進めました。

1. 部会総会（5月 リモート開催）

事前アンケートに基づく「今年の活動計画（案）」に対して、部会員の方々から積極的な意見を頂きました。これまでの「リモート」から多くの「対面」での活動要望を頂きました。

2. 夕食懇親会（9月 対面開催）

2020年1月の部会再編後、初めての対面企画となり、多くの部会員の方々に参加頂きました。「ビジネスパートナーとして連携を深めるためには、やはりこのような対面での懇親の場が重要」「初めてお会いする方や懐かしい方と、とても楽しい時間を過ごす事が出来た」「今後も定期的にこのような懇親会があると良い」等の感想をいただきました。



3. セミナー&懇親会（12月 対面開催）

「地政学をビジネスの現場で使う～地域統括拠点主導のリスクマネジメントと事業機会の創出～」というテーマで、部会員の方から提案頂き、我々と一緒にセミナーを企画させて頂きました。我々の部会には、「通信、IT、法律・会計事務所、コンサルタント、その他法人向けサービス」をビジネスの柱とする企業様にご所属頂いていますが、部会員様が持ちの高い専門知識、経験を、シンガポールでの「日本企業のプレゼンス向上」に貢献する、今回のパターンは非常に重要だと感じました。今後も、部会員の方々と密なコミュニケーションをさせていただき、一緒にイベント等の企画をしていきたいと思っています。

②シンガポールでの我々の取り巻く環境

皆様ご存じの通り、リー・シェンロン首相は2014年11月、スマートネーション構想の開始を発表し、DX（ビッグデータやAI、IoTなど最新ICT技術）の導入で国家が直面する高齢化や交通などの社会課題の解決を進めています。6つの国家戦略プロジェクトを進め、今では世界NO1のスマートシティ先進国です。キャッシュレス化は当然のことながら、コロナ期間では、皆様も、シンガポールのヘルスケア領域でのDX化のレベルの高さと対応スピードの速さを感じたかと思います。IT基盤整備だけでなく、法律など含めた、プロセスの効率化、改善など、社会課題解決に向けた効率的な進め方は、我々日本企業に取っても非常に学ぶべきものが多くあります。また、一方、我々日本企業が持つ高い専門知識、技術も、まだまだ、この分野では、シンガポール政府も注視しており、日系企業と政府が一体となって、シンガポールの社会課題解決に向けて、取り組んでいくことが重要かと思っています。

法人サービス・IT部会での活動が、少しでも上記活動につながるように、部会員様と一緒に活動させていただきたいと思っています。引き続き、ご支援、ご指導のほど、よろしくお願い致します。

最後になりますが、本年が皆様にとって、益々の発展の年となることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

生活産業部会 部長／監事
 NIKKEI GROUP ASIA PTE LTD
 Managing Director & Regional CEO
 渡邊 園子



シンガポール日本商工会議所会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

新型コロナウイルス禍発生から既に約3年。世界がコロナ禍から完全に抜け出したとは依然として言えないものの、シンガポールや周辺国では昨年来、ウィズコロナ前提の各種の規制の緩和が急速に進み、日々の生活に大きな制約は感じられません。在宅勤務など柔軟な働き方、リモート会議や宅配などオンラインサービスの活用といったニューノーマルが定着した一方で、ビジネスの現場には人が戻り、各種のフォーラムやイベントでは会議そのものよりもグラス片手のネットワーキングの方が熱を帯びていることも珍しくありません。皆様も域内を飛び回り、日本を含めて海外からも多くの訪問客を迎えるご多忙な日々と存じます。

そんな中で迎える2023年の干支は「癸卯（みずのとう）」。寒気が緩んで萌芽を促す年、これまでの努力が実を結び成長する飛躍の年と解釈されるようです。熱帯の国シンガポールに「寒気」という言葉はあまり似合わず、また物価上昇や中国経済の停滞など懸念材料もありますが、久々に穏やかな気持ちで迎えられる新年ではないでしょうか。

生活産業部会にとりましても23年は一段の飛躍を願う年です。当部会の会員は人と人とのつながりに関係する企業の皆様が中心です。旅行や流通小売り、飲食、引越し、医療などから人材紹介まで、人が出会い交流することで生まれるビジネスであり、駐在日本人やご家族、日系企業向けのサービスを手掛ける会員が多いのも特徴です。コロナ禍による社会活動の停滞は大きな打撃となりました。人や物の動きは急回復してきましたが、チャンギ空港の旅客数などもコロナ前の水準にはまだ届いておらず、23年は「芽生え」「復活」が確実なものになることを祈念しております。

ここで22年の生活産業部会の活動を振り返りますと、各種規制緩和が追い風となり21年までのオンライン中心から一歩前進してリアルな活動が復活

しました。5月に3年ぶりの対面での「新任者・新入会企業 歓迎懇親会」をランチタイムに開催。自己紹介も交え懇談を楽しんでいただきました。9月にはサッカー指導者で日本代表が16強入りした18年ワールドカップ（W杯）ロシア大会代表監督などとして知られる西野朗氏をお招きし、講演会「サッカーにおけるチームマネジメント」を開催。限られた時間で強いチームを作った舞台裏や国際舞台で活躍する選手の条件などを熱く語っていただきました。土曜日開催ということで会員ご家族のサッカー少年・少女にもご参加いただけました。11月には他の7部会と共同で「シンガポール戦跡視察会」を開催、旧日本軍上陸地点サリンブン海岸、旧フォード工場等を回りました。1967年に来星され50年以上ガイドを務めてこられた顔夕子さんが語り部として同行、脱走兵や元からゆきさんとの出会いなど貴重なお話を聞く機会となりました。

これまでの蓄積を生かしたオンライン活動も継続。8月には鉄道博物館・副館長の荒木文宏氏に日本からリモート登壇いただき、「鉄道博物館 副館長と1時間で迎える、鉄道開業150年の歩み」をランチタイムに開催しました。新橋―横浜間の鉄道開業から150年を記念したウェビナーで熱心な鉄道ファンの方だけでなく幅広い方にご参加いただきました。これら活動はいずれも好評をいただき、ご登壇いただいた皆様や参加された皆様、開催にご尽力いただいたJCCI事務局の方々に改めて厚くお礼申し上げます。

リアルな活動の魅力は大きいですが、オンラインの活動も気軽に参加でき、海外から、さらに複数の国を結んでの開催も可能などの利点があります。23年は皆様がさらにご多忙になる中、新たな発見がある活動、有意義で役に立つ活動、そして元気になる活動を皆様とともに考え、多様な形態で柔軟に実現していきたいと思っております。

末筆となりますが、皆様が健康で素晴らしい年を過ごされますことを祈念して、年始のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

広報委員会 委員長／副会頭
JAPAN AIRLINES CO., LTD.
Vice President & Regional Manager, Singapore
土橋 健太郎



謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中もJCCI機関誌「月報」をご愛読下さり、誠にありがとうございます。広報委員会のメンバーを代表しまして、ご挨拶申し上げます。

広報委員会では毎月21名の委員メンバーの皆さまに月例の広報委員会にご出席頂きつつ、月報の記事における執筆者への原稿の構成や着眼点等に関する依頼事項の議論を行っております。コロナ禍の中、広報委員会はリモート方式で実施せざるを得ませんでした。昨年2022年5月、2年3ヶ月ぶりに対面による広報委員会を再開することが出来ました。オンラインによる広報委員会を開催している間に、委員の方の離任や新規着任が少なからず生じた為、直接面識の無いメンバー同士による委員会の議論もいささか硬さ、遠慮、ぎこちなさがありました。しかしながら、ようやく対面による委員会の開催が可能となり、実際に会って議論を行うことにより円滑で心の通ったコミュニケーションが出来ることに大きな喜びを感じております。是非本年も広報委員会のメンバーの力作である「月報」にご期待ください。

さて、2022年は永らく続いたコロナに伴う諸制限の緩和が進むと共に、ようやくシンガポールと日本を含む諸外国との人流が回復基調となり、経済活動が本格的に再始動しました。他方、一難去ってまた一難、新たにウクライナを取り巻く欧州情勢や為替変動、物価高騰等、私たちを取り巻く悩みの種は後を絶ちません。また、世界的な中長期的課題としては、気候変動対策など、ESG、SDGsに関わる取り組みの必要性が待たなしの状態となっています。

特に当地シンガポールのリー首相はNational Day Rally 2022の演説の中で、ウクライナ情勢に関連して人種・宗教・収入・社会的な違いや出生地によって国民は分断されてはならないとしています。これはSDGsの中の個別ゴールと通じるものであり、混沌として先の見通しが効かない現代であるからこそ、一致団結して問題の解決に向けて立ち向かう姿

勢が必要であることを、多民族文化で成り立っているシンガポールならではの強い意志として表明したものかと思えます。

SDGsは2015年の国連総会において、全会一致で採択された2030年までに達成すべき17のゴール、169のターゲットを示したものですが、企業にとって今やSDGsへの取り組み姿勢は企業価値そのものを計る指標となり、その姿勢次第では消費者やビジネスパートナーから選ばれない時代となっていることはご存知の通りです。

シンガポール国民を対象に行われた調査（OCBC Climate Index 2022）によると、2021年にシンガポール政府が開始したSingapore Green Plan 2021をきっかけとして、緑化、気候変動の認識は高まっているものの、個人的なメリットに繋がらなければ人々は具体的な行動を起こさない傾向にあることが判明しました。即ち何等かの行動を起こしている人の多くは、それを環境の為では無く、あくまでも自らの健康・お金の節約・個人的利便の為に行動していると分析しています。更に、行動しない理由としては、経費が発生する、面倒、時間がかかる等をその主たる要因としています。この調査と分析結果は、あくまでも個人レベルのものですが、企業レベルでの活動・行動においても大変参考になるポイントが多く含まれている様に思います。

SDGsの時間的目標である2030年まで、残り僅か8年となっておりますが、広報委員会としても会員企業各社のメリットに繋がる記事の掲載を行うと共に、新たな発想に基づく企画を実施し紙面で紹介することも模索したいと考えております。2023年も、目まぐるしく変化する世界情勢やシンガポールにおける私たちの事業環境の変化をタイムリーに捉え、スピーディーに発信していくことを目指して参りたいと考えております。

本年も是非『月報』のご愛読をどうぞよろしくお願い申し上げます。

広報委員会 メンバー一覧



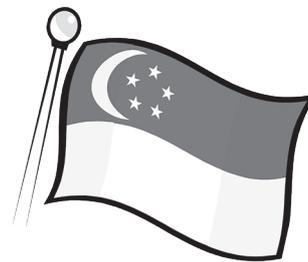
(敬称略、会社名アルファベット順)

		NAME	COMPANY
1	委員長	土橋 健太郎	JAPAN AIRLINES CO., LTD.
2	幹事長	本田 智津絵	JETRO SINGAPORE
3	編集委員	安田 雅子	DELOITTE & TOUCHE FINANCIAL ADVISORY SERVICES PTE LTD
4	編集委員	田中 麻友子	EAST JAPAN RAILWAY COMPANY
5	編集委員	西岡 利晃	ERNST & YOUNG LLP
6	編集委員	阪本 順子	FUJI OIL ASIA PTE. LTD.
7	編集委員	川瀬 茂人	FUJIFILM BUSINESS INNOVATION ASIA PACIFIC PTE. LTD.
8	編集委員	吉田 芳弘	HAKUHODO CONSULTING ASIA PACIFIC PTE LTD
9	編集委員	高山 桃子	ITOCHU SINGAPORE PTE LTD
10	編集委員	永井 初芽	JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION SINGAPORE OFFICE
11	編集委員	永見 亜弓	JAC RECRUITMENT PTE LTD
12	編集委員	佐藤 紀之	KAJIMA OVERSEAS ASIA PTE LTD
13	編集委員	岩石 歩	KDDI ASIA PACIFIC PTE LTD
14	編集委員	浅田 智也	MITSUBISHI CHEMICAL APAC PTE LTD
15	編集委員	片倉 健夫	mitsui FUDOSAN (ASIA) PTE LTD
16	編集委員	彦坂 達哉	MUFG BANK, LTD.
17	編集委員	久野 克彦	NTA TRAVEL (SINGAPORE) PTE LTD
18	編集委員	千住 洋	SANSAN GLOBAL PTE LTD
19	編集委員	湯本 茂樹	NAGANO REPRESENTATIVE OFFICE IN SINGAPORE (J.CLAIR, SINGAPORE)
20	編集委員	御手洗 遥	TOKIO MARINE INSURANCE SINGAPORE LTD
21	編集委員	内藤 靖統	UZABASE ASIA PACIFIC PTE LTD

(2022年12月現在)



2022年

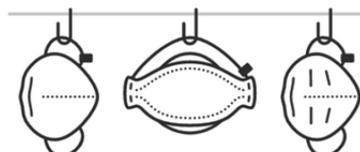


シンガポール主要ニュース一覧

2022年4月以降、シンガポール国内ではコロナ感染拡大規制が大幅に緩和され、3年ぶりに独立記念パレードやフォーミュラー1（F1）など多くのイベントが実施されました。月報編集を担当する広報委員会が年内に報道されたシンガポールに関連する主要ニュースを選びました。どうぞ2022年を振り返りながら、ご覧下さい。

【 シンガポール主要ニュース 】

1. マスク着用を任意とするなど、新型コロナウイルスの感染予防対策を段階的緩和
2. 外国人の就労ビザが一段と厳格化、2023年9月から「補完的評価フレームワーク（COMPASS）導入へ
3. 住宅価格、住宅賃料が高騰
4. シンガポールの次期首相の最有力候補に、ローレンス・ウォン氏（副首相兼財務相）
5. シンガポールドル、対円で記録的高値に
6. 2050年までにCO2排出をネットゼロへ、新目標を発表
7. 3年ぶりに独立記念パレードやフォーミュラー1（F1）が本格開催、大型イベント続々再開
8. マレーシアからの鶏肉輸入が停止
9. 大量高速鉄道（MRT）新線「トムソン・イーストコースト線」の第3期工事が完成、開通
10. 男性の同性愛行為が合法に



【 2023年開催予定のイベント・行事一覧 】 ※変更の予定あり

- ◆GST8%に引き上げ
- ◆Marina Bay Singapore Countdownが2年ぶりに開催予定（2022年12月31日～2023年1月1日）
- ◆シンガポール・アート・ウィーク（2023年1月6～15日）
- ◆3年ぶりの規制のないLunar New Year（2023年1月22～23日）
- ◆Chingay Parade、2年ぶりにF1 Pitで開催予定（2023年2月3～4日）
- ◆アジア最大級の国際食品展示会「フード・ホテル・アジア（飲食）」（2023年4月25～28日）
- ◆インダストリー 4.0の国際展示会・会議
「インダストリー・トランスフォーメーション・アジアパシフィック」（2023年10月18～20日）
- ◆シンガポール・フィンテック・フェスティバル（2023年11月15～17日）



Welcome 2023



ご登録データ 変更フォーム

代表者、住所、E メールアドレスなどの登録内容に変更がございましたら、下記変更フォームに必要事項をご記入の上、JCCI 事務局まで E メールにてご連絡頂くか、JCCI の HP (<https://www.jcci.org.sg/membership/notification-of-change/>) より変更手続きを頂きますよう、お願い申し上げます。

※弊所からの各種事業のご案内は、原則 E メールにてお送りさせて頂いております。

ご異動などがございました際には、登録 E メールアドレスのご変更をお願いいたします。

※変更のご連絡を頂きました際には、弊所からご返信を差し上げております。万一、返信がない場合には、お手数をおかけいたしますが、一度、事務局までご連絡下さい。

※ご変更の際には、必ず会社名と E メールアドレスをご記入下さい。

会社名(日)			
会社名(英)*			
旧代表者名(日)			
新代表者名(日)		新代表者名(英)	
役職名(日)		役職名(英)	
E-MAIL*			

Address			
Tel:		Fax:	
業務内容			
派遣邦人		シンガポール人	
現地邦人		外国人	
総従業員数			
変更日	年	月	日 より

新規登録 E メールアドレス	削除 E メールアドレス

その他

本件担当：シンガポール日本商工会議所 ドリス (E-mail : doris@jcci.org.sg TEL : 6221-0541)

2023年ASEAN域内展望

MU RESEARCH AND CONSULTING (THAILAND) CO., LTD.
Managing Director
池上 一希



本稿は、2部構成となっており、前半では2022年のASEAN経済を振り返り、2023年の展望についてまとめる。後半は2023年に予定される主要なイベントを取り上げ、経済以外の要素についてもみることとで全体を俯瞰していきたい。

1. ASEAN経済展望

2022年の振り返り:ASEAN経済の成長速度は、
新型コロナウイルス感染拡大前の巡航速度へ

ASEAN経済の2022年は、経済活動再開にともなう個人消費の好調さに支えられ、景気が堅調に推移した年であった。主要貿易相手国である中国の景気減速、部品供給の遅れ、通貨安と輸入価格の上昇にともなうインフレ等、景気の下押し要因はあったものの、ASEAN経済は底堅さを見せた。2021年はコロナ渦からASEAN経済が持ち直し始めた年であり、それに続く2022年は、経済が巡航速度に戻り始めた年であったと言える。

シンガポール、インドネシア、タイ、マレーシア、フィリピン、ベトナム（以下ASEAN主要国）

国	2019	2020	2021	2022	2023
シンガポール	1.1	▲4.1	7.6	3.7	2.4
インドネシア	5.0	▲2.1	3.7	5.2	4.7
タイ	2.2	▲6.2	1.5	3.2	3.8
マレーシア	4.4	▲5.5	3.1	8.0	4.0
フィリピン	6.1	▲9.5	5.7	6.8	5.3
ベトナム	7.4	2.9	2.6	7.6	6.2

図表1：ASEANの経済成長率（2019～2023年）¹

の2022年の経済成長率は、コロナ前と比べるとほぼ同様あるいは上昇となっている。

足元で順調な経済成長を続けるASEANであるが、世界各国と同様にインフレが加速している。アメリカのインフレは景気回復と雇用のひっ迫によるものが大きいですが、ASEANのそれは資源価格と食料価格の上昇に起因したものである。たとえば、タイの直近（2022年10月）のインフレ率（前年同月比）は、+6.0%である。ただし、「生鮮食品・エネルギー」のインフレ率が同+11.5%であり、生鮮食品・エネルギーを除いたコアCPIは3.2%である。また、シンガポールの直近のインフレ率は+6.0%である。中でも燃料の影響を受ける「運輸」が同+15.6%と非常に高くなっており、次に「食品」で7.1%となっている。フィリピンもシンガポールと同様に「食品」と「運輸」のインフレ率が直近においてトップであり、それぞれ同+9.8%、同+12.5%となっており高止まりしている状況といえる²。

世界的な一次産品の高騰を受けてASEANにおいてもインフレが加速しており、各国の政府は物価抑制に向けて減税や補助金の支給を実施している。

国	2021	2022	2023
シンガポール	2.3	6.2	4.4
インドネシア	1.6	4.2	4.1
タイ	1.2	6.1	2.8
マレーシア	2.5	3.5	3.2
フィリピン	3.9	5.5	4.1
ベトナム	1.8	3.5	3.6

図表2：ASEAN主要国のインフレ率（2021～2023年）³

ASEAN各国の中央銀行は、アメリカの2022年6月以降の継続的な利上げの影響によるインフレや自国通貨安に対処するために、利上げを実施してきた。インドネシアやマレーシアは早くから利上げを複数回実施してきた。一方、ベトナムは9月、10月に一気に1%ずつ引き上げを実施。タイミングや上げ幅は異なるが、各国中銀は、金利を引き上げることで資金流出の回避とインフレの抑制を企図しつつ、金利上昇が必要以上の景気の下押し要因とならないよう、難しいかじ取りを迫られている。

国	2022年に実施された利上げ
シンガポール	4回(1月、4月、7月、10月)の金融引き締めを実施
インドネシア	4回(8月、9月、10月、11月)の利上げを実施、11月に0.5%の利上げを行い、政策金利は5.25%となった
タイ	8月、9月と2ヵ月連続して0.25%ずつ利上げを実施し、政策金利は1%となった
マレーシア	4回(5月、7月、9月、11月)の利上げを実施、11月に0.25%の利上げを行い、政策金利は2.75%となった
フィリピン	11月に0.75%ずつ利上げを実施し、政策金利は6.0%となった
ベトナム	9月、10月と2ヵ月連続して1%ずつ利上げを実施し、政策金利は6.0%となった

図表3：ASEAN主要国の利上げ動向⁴

今後についても各国中銀は「アメリカが今後も利上げを実施するならば、ペソ安によるインフレを防ぐためにフィリピンも利上げを継続する(フィリピン中銀)」、「金利上昇の懸念より、通貨安を防ぎマクロ経済を安定させることが優先(ベトナム中銀)」といったスタンスであり、アメリカの利上げに追随する姿勢を見せている。

2022年末から2023年前半にかけて、アメリカの利上げペースが鈍化するかが焦点となっている。米FRB(連邦準備制度理事会)が2022年11月に利上げを決定した際には、今後の利上げのペースは経済活動やインフレを考慮する旨が声明文に記載された。今後のアメリカの利上げが落ち着いたものになれば、それを追随する東南アジアの利上げのペースも一定程度は鈍化すると想定される⁵。

2023年の展望:世界経済の減速懸念と回復トレンドの実体経済の綱引きに

2023年のASEAN経済は、インフレおよび世界経済の景気減速というマイナス要因とエンデミックをむかえ回復傾向にある実体経済の綱引きとなるであろう。

まずは世界経済の現状と展望について述べたい。現在、インフレおよび急激な金融引き締めにより、世界景気の回復ペースの減速、さらには景気後退の懸念が高まっている。景気後退の局面では、一次産品以上に二次産品の需要が縮小するため、機械や電気・電子等の製造業の生産拠点であるASEAN各国は、影響を受けることになる。

天然ガスはロシアからの供給減で引き続き価格の高止まりが見込まれるものの、金融引き締めに伴い、原油や銅等の価格が下落基調となっている。このような背景から先進国の金融引き締めのスピードは徐々に鈍化する可能性が高い。

	2021	2022	2023
経済成長率	6.0	3.3	2.4
インフレ率	4.6	8.6	6.9

図表4：世界の経済成長率およびインフレ率(2021~2023年)⁶

さらに中国およびアメリカの経済状況についても考える必要がある。両国はASEANの貿易総額のシェアを大きく占める先という意味でも重要である。

まずはASEANとの貿易量の約2割を占める中国である。2022年の実質GDP成長率見込みが3.3%となるなど⁷、足元景気は弱含みであるが、政府が景気の下支えのためにインフラ投資の促進や各種消費振興策の追加実施を行っており、2023年は回復基調をたどる可能性が高い。一方、下振れ要素として注視すべきはゼロコロナ政策である。10月16日から22日頃にかけて行われた中国共産党の第20回中国共産党大会において、習近平国家主席は、ゼロコロナ政策の継続を示唆した。同政策は中国の内需低迷を引き起こし、ASEANから中国への輸出の下押しの要因となっている。そしてASEANへの海外旅行者で最も大きな割合を占めるのは、中国人あり、

ゼロコロナ政策の緩和なくしてASEANの観光業のコロナ前までの水準への回復は道半ばとなると考えられる。

	2021	2022	2023
経済成長率	8.1	3.3	4.7
インフレ率	0.9	2.2	2.4

図表5：中国の経済成長率およびインフレ率(2021～2023年)⁹

一方のアメリカについては2023年に減速するという見込みが強まっている。雇用者数は増加しているものの景気減速により求人数は減っており、また消費の回復ペースも減速している。賃金に連動する傾向にあるサービス価格は、賃金上昇圧力の低下により鈍化基調に転じる見通しである。

	2021	2022	2023
経済成長率	5.9	1.9	0.6
インフレ率	4.7	8.2	5.4

図表6：アメリカの経済成長率およびインフレ率(2021～2023年)⁹

次にASEAN経済の見通しについてである。経済は各種コロナ関連規制の緩和による個人消費の回復モメンタムは強いものの、物価上昇とそれともなう利上げに加え、世界経済全体の景気減速が重石となっていく可能性が高い。その結果、ASEAN主要国の2023年の経済成長率は、概ね各国とも減速すると考えられる(図表1参照)。

一方、ASEANはタイを筆頭に、経済における観光収入への依存度が高い。海外旅行者の往来回復による内需の後押しが実現するかは、ゼロコロナ政策により厳格な水際対策を行う中国の方向性次第ともいえよう。

ASEAN主要国の動向を国別にみていく。まず、シンガポールは、個人消費や観光収入の増加が見込まれるものの、主要輸出品である電子機器の世界での需要減の影響を受ける製造業および金融業への影響が見込まれ、2023年は前年と比較してやや低調となる見込みである(成長率見込み+2.4%)。

インドネシアは、資源需要の底堅さが経済全体を下支えしている。今後も主要産品である石油や天然

ガスの需要は根強く、個人消費の回復も継続していく見込みである。2023年の経済成長率は前年から若干の減速となる見込み(+4.7%)。

マレーシアも資源純輸出国のメリットを享受し、安定的な回復状況にある。一方、金融引き締めにもなうインフレ圧力や地政学リスクの上昇により、経済成長が鈍化する懸念がある。また、債務水準が高く財政面での懸念も依然残っている。2023年の経済成長率は+4.0%と2022年と比較すると減速するであろう。

フィリピンについては、2022年第3四半期(7月～9月)の経済成長率は+7.6%と足元は去年の反動増もあり高い伸びとなっている¹⁰。しかし2023年の経済成長率は、米中向けの輸出の伸び悩みや、世界的な景気減速による海外労働者送金の減少等により経済成長率は+5.3%と2022年から減速となる見込み。

タイの2022年のインフレ率は+6.1%を見込み、ASEAN主要国でも相対的に高く、インフレが景気の重石になっていたが、2023年はインフレ率が落ち着く見通しである。個人消費自体は活発であることから、2023年の経済成長率は+3.8%と見込まれる。

ベトナムの経済成長率は、2022年(+7.6%)、2023年(+6.2%)ともにASEAN主要国でも相対的に高いものとなる見込み。2022年第3四半期(7月～9月)の経済成長率は+13.7%であり¹¹、サービス業によるけん引に加えて、前年同期からの反動もあり大幅に増加した。今後も海外需要の冷え込みにより輸出の鈍化が見込まれるものの、観光業を中心としたサービス業がそれを補う構図となる。

2. ASEAN主要イベント

次にASEANにおける主要な政治イベントについて見ていく。2023年に総選挙が実施される予定があるのは、タイ、カンボジア、ミャンマーである。

世界的に注目度が高いのはミャンマーの選挙であろう。2021年2月に国軍によるクーデターのもとで現政権が誕生し、その後激しい市民による反対運動を引き起こした。2022年11月11日に行われたASEAN首脳会議の議長声明では、ミャンマー情勢

シンガポール	➤ 9月の大統領任期満了に伴う選挙が実施予定
インドネシア	特になし(2024年に大統領選挙が実施予定)
タイ	5月7日にタイ下院総選挙が実施される予定
マレーシア	特になし(2022年に総選挙を実施済み)
フィリピン	特になし(2022年に総選挙を実施済み)
ベトナム	特になし(2021年に総選挙を実施済み)
カンボジア	➤ 7月23日に下院議会総選挙が実施される予定
ラオス	特になし(2021年に総選挙を実施済み)
ミャンマー	➤ 8月までにクーデター後初の総選挙が実施予定

図表7：2023年ASEAN政治カレンダー¹²

に対して「民主派活動家の死刑執行や暴力の深刻化等、長引く政治危機に懸念を表明する」と記されることとなった。暴力の即時停止等を求める「5項目の合意」に対してミャンマー国軍は、内政干渉であると反発しており、解決の道筋はいまだ見えない。

このような状況下のミャンマーで、2023年8月までに憲法上の要請により総選挙の実施が要求されている。しかし、政権を握るミャンマー国軍が規定通りに選挙を実施するのか、実施するとしても公正なものになるのか等、注目が集まっている。

既に、2023年に行われる選挙が民意を反映したものにならないとして不支持を表明する声が、NLD（国民民主連盟）ほか国内外から出ている。この総選挙をきっかけに、軍事政権へ反対運動が再び激化する可能性がある。また、選挙の結果如何では、すでに撤退、凍結が相次いでいる外資のミャンマー投資が一段と冷え込む事になる懸念もある。

次にタイにおいても、今後の在り方を左右する重要な選挙が2023年に予定されている。これまでタイの選挙では「地方・低所得者層から支持を集めるタクシン派が勝利し、選挙結果に反対するデモが起きて治安が悪化し、クーデターにより軍が権力を掌握して強権で鎮静を図る」というサイクルが度々行われてきた。2022年現在、親軍政派の政党が議会の過半数を占めている。しかし、親軍政派のリーダーの国民国家の力党は、現首相のプラユット氏を首相候補に選出せず、現副首相のプラウィット氏を選出すると見込まれている。そして、新党である国家建設タイ合同党は、現首相のプラユット氏を首相候補として選出すべく協議を行っていると報道されており、現与党側での足並みの乱れが見られる。

また、2022年のバンコク都知事および地区代表の選挙では、反軍政派が圧倒的に支持されるといっ

た結果となり、2023年の総選挙において影響を及ぼすと考えられる。2023年の選挙でもタクシン派政党であるタイ貢献党が勝利しマジョリティーを獲得できるのか、そして仮に勝利した際にその結果が受け入れられるのかに注目が集まる。

2023年の7月23日に総選挙が予定されているカンボジアの選挙についても触れたい。カンボジアでは、フン・セン首相率いるカンボジア人民党の長期支配が続いている。2018年の上院選挙では、選挙前に有力野党が解党となり、さらに政府に批判的なスタンスを取るメディアが閉鎖に追い込まれた。公平性に疑問が呈される選挙となり、全議席を与党が獲得することとなった。2022年に行われた地方議会選挙では人民党が野党に圧勝しており、2023年の総選挙も人民党が優位となる可能性が高いであろう。

そして、シンガポールでは、2023年9月に同国初の女性大統領であるハリマ・ヤコブ氏の任期が満了となる。これにともない大統領選挙が実施される。もっとも、シンガポールにおいて大統領は儀礼的な存在であり、リー・シェンロン首相の退任時期のほうが注目に値する。従来は70歳となる2022年に引退すると公言していたものの、次期首相となる予定だった後継者の辞退などがあり、現在も続投している。2022年の4月、49歳のローレンス・ウォン財務相が次期首相として発表されたものの、交代の時期は未定である。

ASEAN各国のイベントカレンダー

次にASEANの主要なイベントについては図表8の通りである。まず、ASEAN全体では、東ティモールの加盟問題が挙げられる。2022年11月11日のASEAN首脳会議で東ティモールのASEAN加盟が原則承認となった。ASEANの加盟国が増えるのは1999年のカンボジア以来であり、東ティモールは11カ国目のASEAN加盟国となる。正式加盟のロードマップは2023年に採択予定であるが、正式加盟以前もオブザーバーとして首脳会議を含むすべてのASEAN関連会合への参加が認められる。人口130万人ほどの東ティモールのASEAN加盟は、現ASEAN加盟国に対して大きな経済的な影響力を持

つわけではない。しかし、インドネシアと国境を接する島国である東ティモールには、近年中国からの投資および経済進出が目立っている。大国に対して中立の立場をとるASEANへ東ティモールが加盟による影響などは注視される。

また、2023年は、「日ASEAN友好協力」および「日・ベトナム外交関係樹立」の50周年記念である。「日ASEAN友好協力」の一環で、日ASEAN経済共創ビジョン策定プロジェクトが実施されている。現在、ASEANのビジネス・リーダー、スタートアップ、産業人材育成機関、アカデミアなどの幅広い意見を集約し、次の50年を見据えた、新しい時代の日ASEAN経済関係を共に創っていく（共創）という視点で、ビジョンを策定する予定である。

個別の法律に関しても、企業活動に影響を与える変更が2023年に予定されている。シンガポールのビザ審査基準の変更、タイの民商法典改正の発効、マレーシアの雇用法改正など、自社にとってどのような影響を与えるのか、検討が必要となってくる。

新型コロナ、米中対立、ロシアのウクライナ侵攻といった様々な要因により、近年の世界経済はより不透明感を増している。また、近年では2022年10

月の中国共産党大会で台湾問題において武力行使を否定しない旨が方針として確認される等、ASEANへの影響が大きい地政学的な論点についての懸念も高まっている。従来以上に定性的な要素が重要性を増す中、経済動向とあわせ、これらのASEANに関する主要イベントの定点観測についても定期的な動向の整理が重要であろう。

< 訳注 >

- 1 図表1 2019年～2021年は各国統計より、2022年および2023年は三菱UFJ銀行経済調査室による予測値（2022年11月時点）
- 2 各国統計
- 3 図表2 2021年は各国統計より、2022年および2023年は三菱UFJ銀行経済調査室による予測値（2022年11月時点）
- 4 図表3 各中央銀行のアナウンスよりMURC作成
- 5 各国報道より
- 6 図表4 2021年は各国統計より名目GDPで加重平均、2022年および2023年は三菱UFJ銀行経済調査室による予測値（2022年11月時点）
- 7 三菱UFJ銀行経済調査室による予測値（2022年11月時点）
- 8 図表5 2021年数値は中国国家統計局より、2022年および2023年は三菱UFJ銀行経済調査室による予測値（2022年11月時点）
- 9 図表6 2021年数値はアメリカ商務省より、2022年および2023年は三菱UFJ銀行経済調査室による予測値（2022年11月時点）
- 10 フィリピン統計庁
- 11 ベトナム統計総局
- 12 図表7 各種報道よりMURC作成
- 13 図表8 各種報道よりMURC作成

ASEAN	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 東ティモールのASEAN正式加盟のロードマップが採択される予定 ✓ 日ASEAN友好協力50周年を記念し「日ASEAN経済共創ビジョン」を策定
シンガポール	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 1月に消費税率が7%から8%に引き上げ ✓ 4月よりバイクの排気規制を強化 ✓ 9月より就労査証(EP)の審査基準が最低基本月給に加えてポイントシステムを導入
インドネシア	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 1月に韓国との包括的経済連携協定が発効予定 ✓ 6月にジャカルタ・バンドン高速鉄道が運行予定
タイ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 1月より5ヶ年投資促進戦略(2023～27年)に基づく新たな投資優遇策が実施予定 ✓ 2月に民商法典改正法が発効(吸収合併法制の導入や株主最低人数が3名から2名へと変更) ✓ 外国人旅行者から観光税300バーツを徴収予定
マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 1月よりトルコとのFTAの対象品目が拡大予定 ✓ マレーシア雇用法改正法が施行される予定(産休期間の延長、男性従業員への育休の付与等、労働保護が強化)
フィリピン	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 上場企業の持続可能性報告書の提出が義務化(サステナビリティ情報の開示強化予定) ✓ 商業衛星の打ち上げを予定
ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 日・ベトナム外交関係樹立50周年 ✓ ベトナム知的財産法改正法案が施行予定 ✓ 土地法改正案が施行される予定(公示地価と市場価格の乖離の抑制対策や土地収用に関する補償価格や補償手続きが盛り込まれる見込み)

図表8：2023年予定のASEAN主要国のイベント¹³

執筆者氏名

池上一希 (いけがみ かずき)

経歴

大手自動車メーカーにて主にアジア・中国事業企画業務全般を経験。2007年三菱UFJリサーチ&コンサルティング入社。2018年MU Research and Consulting (Thailand) Co., Ltd.社長として出向、現在に至る。

JCCI SINGAPORE FOUNDATION LIMITED

10 Shenton Way, #12-04/05 MAS Building, Singapore 079117
(Co. Reg. No.: 199002444H)

2023年1月

各位

シンガポール日本商工会議所基金
募金委員長
仙波 靖雄

シンガポール日本商工会議所基金「2022年度募金」へのご協力御礼

拝啓 2023年、新しい年を迎え、会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当会議所の事業活動に多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年8月から11月にかけて実施致しました標記基金への募金活動におきまして、格別のご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

会員企業各位によるご支援により、2022年12月8日の時点で計150会員から19万3,150シンガポールドルの貴重な浄財を頂戴致しました。

寄付先選定に関しまして、基金諮問委員会において慎重な検討のうえ、相応しいと判断した25の寄付先団体・3名の奨学生を決定し、贈呈することとなりました。

末筆ながら、皆様の温かいご協力に対し改めて心よりお礼申し上げますとともに、引き続き本基金活動への変わらぬご理解、ご支持を賜りますよう併せてお願い申し上げます。

敬具

シンガポール日本商工会議所基金「2022年度の寄付先」のご紹介

シンガポール日本商工会議所基金では、2022年12月7日に「2022年寄付先・奨学生贈呈式」をマンダリン・オリエンタルで開催し、2023年に実施される事業及びコロナ禍で影響を受けた当地の方々を支援する活動に対し、25団体へ寄付をさせていただきました。ここに受領者についてご紹介をさせていただきます。

1. Arts House Ltd - Singapore International Festival of Arts

寄付金額：S \$10,000

寄付活動：「Singapore International Festival of Arts (SIFA) 2023 - New Illusion by Toshiki Okada」



2. Musicians' Initiative

寄付金額：S \$5,000

寄付活動：「An Evening with Hayato Sumino」



3. Symphonic Music (Asia) Ltd

寄付金額 : S \$5,000

寄付活動 : 「Musical Dialogue - (乐之缘)」

ASIAN
CULTURAL
SYMPHONY
ORCHESTRA

4. The Esplanade Co Ltd

寄付金額 : S \$20,000

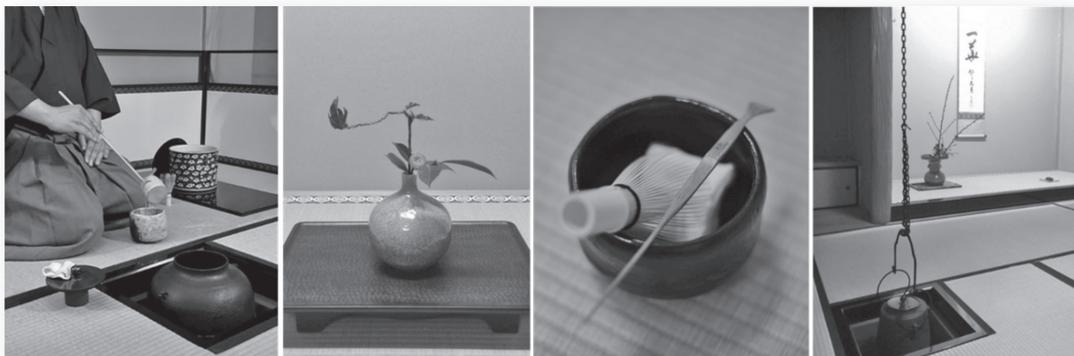
寄付活動 : 「A Tapestry of Sacred Music Festival」 & 「Jazz in July 2023」



5. Chado Urasenke Tankokai Singapore Association

寄付金額 : S \$10,000

寄付活動 : 「Introducing "CHADO 茶道" (The Way of Tea) to the public」



6. Intercultural Theatre Institute Ltd (ITI)

寄付金額 : S \$10,000

寄付活動 : 「Teaching of Noh Theatre, with Presentation & Dialogue」



7. National University of Singapore, Department of Japanese Studies

寄付金額 : S \$5,000

寄付活動 : 「Promoting Japanese Cultural Activities」



寄付金額 : S \$10,000

寄付活動 : 「Field Studies in Japan 2023」



8. National University of Singapore Japanese Studies Society

寄付金額 : S \$1,000

寄付活動 : 「Japanese Cultural Festival 2023」



9. Singapore Film Society

寄付金額 : S \$10,000

寄付活動 : 「Japanese Film Festival 2023」



10. Singapore Street Festival Limited

寄付金額 : S \$10,000

寄付活動 : 「Happy Balloons」



11. The Japanese Cultural Society, Singapore (JCS)

寄付金額 : S \$10,000

寄付活動 : 「51st Japanese Cultural Festival」



12. The RICE Company Limited (TRCL)

寄付金額 : S \$5,000

寄付活動 : 「Cultures Beats 2023」



13. Runninghour Co-operative Limited

寄付金額 : S \$10,000

寄付活動 : 「Run For Inclusion 2023」



14. Singapore Disability Sports Council (SDSC)

寄付金額：S \$10,000

寄付活動：「Project Abilities」



15. Singapore Kendo Club

寄付金額：S \$3,000

寄付活動：「Development of National Team」



16. Special Olympics Singapore

寄付金額：S \$10,000

寄付活動：「Road to Special Olympics World Summer Games 2023」



17. YMCA of Singapore

寄付金額 : S \$10,000

寄付活動 : 「YMCA Special Needs Inclusive Challenge 2023」



18. Japanese University Graduates Association of Singapore (JUGAS)

寄付金額 : S \$10,000

寄付活動 : 「JUGAS Education Fund」



19. NUS High School of Mathematics and Science

寄付金額 : S \$10,000

寄付活動 : 「Overseas Technopreneurship Programme to Osaka, Japan」



20. Singapore University of Social Sciences (SUSS)

寄付金額 : S \$15,000

寄付活動 : 「ESG Investing - Learning from Japan」 & 「Learning to Apply Japanese Kaizen for Business & Personal Life」



The slide features three horizontal panels on the left, each with an icon and text:

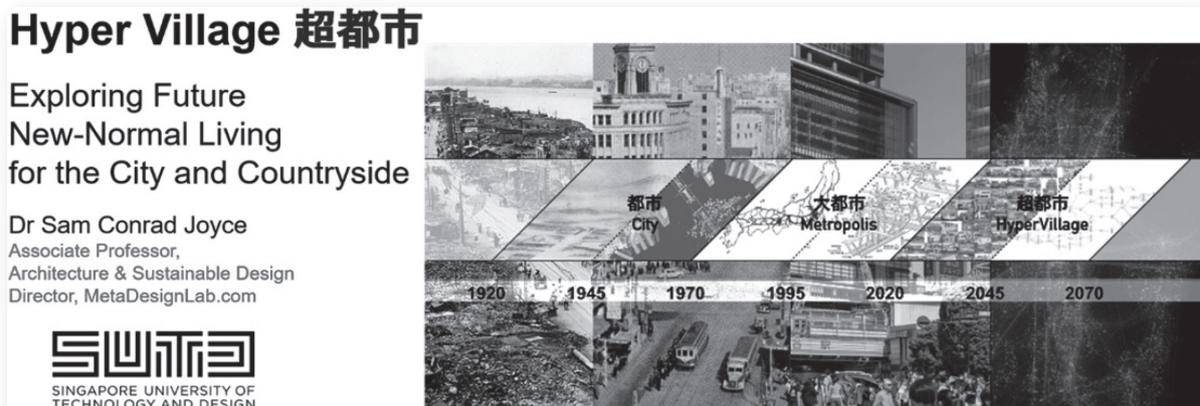
- Environmental Issues:** Climate Change & Carbon Emissions, Deforestation, Energy Efficiency, Pollution, Resource Scarcity, Water Availability, Waste Management
- Social Issues:** Gender & Diversity, Health & Safety, Human Rights, Population & Consumption, Stakeholders' Relations & Reputation, Supply Chains, Working Conditions
- Governance Issues:** Accounting & Audit Quality, Board Composition, Bribery & Corruption, Executive Compensation, Shareholders' Rights, Whistle-blowing Scheme

On the right, the large Japanese characters **改善** (Kaizen) are displayed, with the explanation **Kai = Change Zen = Good** below them. At the bottom right is the **SUSS SINGAPORE UNIVERSITY OF SOCIAL SCIENCES** logo.

21. Singapore University of Technology and Design (SUTD)

寄付金額 : S \$10,000

寄付活動 : 「Hyper Village – Japan and Singapore Architectural Study and Exchange」



The slide is titled **Hyper Village 超都市** and has the subtitle **Exploring Future New-Normal Living for the City and Countryside**. It features a timeline of urban development from 1920 to 2070, with stages labeled: **都市 City** (1920), **大都市 Metropolis** (1945, 1970, 1995, 2020), and **超都市 HyperVillage** (2045, 2070). The slide also includes the name **Dr Sam Conrad Joyce**, his title **Associate Professor, Architecture & Sustainable Design**, and his role as **Director, MetaDesignLab.com**. The SUTD logo and name are at the bottom left.

22. Japanese Language Teachers' Association in Singapore (JALTAS)

寄付金額 : S \$2,500

寄付活動 : 「Japanese Language Education Seminar 2023」



(以下、Extraordinary Donationとしてコロナ禍で影響を受けた方々・団体を支援。)

23. National Council of Social Service (Community Chest)

寄付金額 : S \$60,000

寄付活動 : ① 「Project SPIN* by HCSA Community Services」

② 「SADeaf Community Integration Support for the Hearing Impaired Itinerant Support Service by The Singapore Association for the Deaf」

③ 「Kids In Play by The Salvation Army, Singapore」

④ 「IDEA Employment Development Centre by Movement for the Intellectually Disabled of Singapore (MINDS)」



24. Lions Befrienders Service Association (Singapore)

寄付金額 : S \$17,900

寄付活動 : 「Promoting social engagement among seniors through Japanese cultural activities」



25. Singapore Association for Mental Health

寄付金額 : S \$20,000

寄付活動 : 「Creative Engagement and Education」



2023年派遣留学生について



派遣生名：LIM Siew Ping

大学：National University of Singapore (NUS) (2年生)

専攻：Philosophy (Major) & Japanese Studies (2nd Major)

早稲田大学国際教養学部への派遣時期：2023年9月～2024年7月

将来仕事上の目標：

Siew Ping aspires to work in the academia. With a passion in Philosophy and teaching, she thrives in a multicultural & multilingual setting whereby everyone can learn and work together in harmony



派遣生名：Amelia SIM Ying Zhi

大学：National University of Singapore (NUS) (2年生)

専攻：Political Science (Major) & History (Major)

早稲田大学国際教養学部への派遣時期：2023年9月～2024年7月

将来仕事上の目標：

Amelia aspires to apply her Japanese language skills in a career within consumer service-related industries such as media and public agencies.



派遣生名：Saphie LEAN Yu Wen

大学：Singapore University of Social Sciences (SUSS) (2年生)

専攻：Social Work (Major) & Digital Content Marketing (Minor)

ICU国際基督教大学教養学部への派遣時期：2023年8月～2024年6月

将来仕事上の目標：

Saphie aspires to contribute to the social sectors of Singapore and Japan by empowering communities through community work and documenting people's stories.

JCCI SINGAPORE FOUNDATION 2022年度募金結果

※下記、「法人寄付」には、企業グループとして募金を頂いた場合、複数の部会にまたがるケースがあるため、部会別の後にアルファベット順で掲載しています。

【法人寄付】

ALPHABETICAL ORDER (\$)

第一工業部会

DAIHATSU DIESEL (ASIA PACIFIC) PTE LTD	1,000
DENSO INTERNATIONAL ASIA PTE LTD	2,500
FUJITEC SINGAPORE CORPORATION LTD	1,500
HITACHI CONSTRUCTION MACHINERY ASIA AND PACIFIC PTE LTD	1,500
HITACHI ZOSEN CORPORATION (SINGAPORE BRANCH)	1,500
ISUZU MOTORS ASIA LIMITED	1,500
JAPAN MARINE UNITED SINGAPORE PTE LTD	600
JFE STEEL ASIA PTE. LTD.	1,500
KAWASAKI HEAVY INDUSTRIES (SINGAPORE) PTE LTD	2,500
MITUTOYO ASIA PACIFIC PTE LTD	3,000
OKAMOTO (SINGAPORE) PTE LTD	450
SEIKO MANUFACTURING (SINGAPORE) PTE LTD.	1,000
SMC MANUFACTURING (S) PTE LTD	250
SUMITOMO ELECTRIC AUTOMOTIVE PRODUCTS (S) PTE LTD	1,000
TOYOTA MATERIAL HANDLING MARKETING ASIA PACIFIC PTE LTD	1,000
TOYOTA MOTOR ASIA PACIFIC PTE LTD	1,500
TSUBAKIMOTO SINGAPORE PTE LTD	300
YAMAHA MOTOR ASIA PTE LTD	1,000
YAMAZAKI MAZAK SINGAPORE PTE LTD	800
YANAGAWA OHASHI (SINGAPORE) PTE. LTD.	1,000

第二工業部会

AJINOMOTO (SINGAPORE) PTE LTD	2,500
BANDO (SINGAPORE) PTE LTD	500
DIC ASIA PACIFIC PTE LTD	2,000
ENEOS OIL & ENERGY ASIA PTE. LTD	1,500
HOGY MEDICAL ASIA PACIFIC PTE. LTD.	300
JT INTERNATIONAL SINGAPORE PTE LTD	2,500
KANEKA SINGAPORE CO (PTE) LTD	2,500
TECHNO STAFF PTE LTD	300
TOPPAN INC SINGAPORE BRANCH	2,500
TORAY INTERNATIONAL SINGAPORE PTE LTD	1,500

第三工業部会

CANON SINGAPORE PTE. LTD.	3,000
CASIO SINGAPORE PTE LTD	1,000

FUTABA DENSHI CORP. (S) PTE LTD	600
HITACHI ASIA LTD	1,500
IBIDEN ASIA HOLDINGS PTE. LTD.	1,500
KUSATSU ELECTRIC (S) PTE LTD	300
KYOCERA ASIA PACIFIC PTE LTD	1,000
mitsubishi electric asia pte ltd	3,000
O S ELECTRONICS (S) PTE LTD	1,000
貿易・運輸部会	
HANWA SINGAPORE (PTE) LTD	1,500
ITOCHU SINGAPORE PTE LTD	3,000
KANEMATSU (SINGAPORE) PTE. LTD.	1,500
MARUBENI ASEAN PTE LTD	3,000
MITSUBISHI CORPORATION	3,000
MITSUI & CO. (ASIA PACIFIC) PTE LTD	3,000
NAGASE SINGAPORE PTE LTD	1,000
SOJITZ ASIA PTE LTD	3,000
SUMITOMO CORPORATION ASIA & OCEANIA PTE LTD	3,000
金融・保険部会	
DAIWA CAPITAL MARKETS SINGAPORE LIMITED	1,500
MITSUBISHI UFJ TRUST AND BANKING CORPORATION	2,500
MIZUHO BANK LTD.	3,000
MSIG INSURANCE (SINGAPORE) PTE LTD	2,500
MUFG BANK, LTD. SINGAPORE BRANCH	3,000
SOMPO INSURANCE SINGAPORE PTE LTD	3,000
SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION	3,000
SUMITOMO MITSUI TRUST BANK, LTD SINGAPORE BRANCH	2,500
THE NORINCHUKIN BANK Singapore Branch	2,500
THE TOA REINSURANCE COMPANY LIMITED(SINGAPORE BRANCH)	500
建設・不動産部会	
HOCHIKI ASIA PACIFIC PTE LTD	500
JGC ASIA PACIFIC PTE. LTD.	1,500
KAJIMA OVERSEAS ASIA (SINGAPORE) PTE LTD	3,000
KURIHARA KOGYO CO LTD	1,000
MITSUBISHI ESTATE ASIA PTE LTD	2,500
MITSUBISHI JISHO DESIGN ASIA PTE. LTD.	600
MITSUI FUDOSAN (ASIA) PTE LTD	2,500
OBAYASHI SINGAPORE PRIVATE LIMITED	3,000
PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO LTD	3,000
SHIMIZU CORPORATION	3,000
SMCC OVERSEAS SINGAPORE PTE LTD	1,500
TAISEI CORPORATION	3,000

法人サービス・IT 部会

KDDI ASIA PACIFIC PTE LTD	1,500
MORI HAMADA & MATSUMOTO (SINGAPORE) LLP	500
NEC ASIA PACIFIC PTE LTD	3,000

生活産業部会

NIKKEI GROUP ASIA PTE LTD	600
RE&S ENTERPRISES PTE LTD	1,500
SINGAPORE SHIMBUN PTE LTD	300

GROUP COMPANIES

FUJITSU GROUP COMPANIES

2,500

FUJITSU ASIA PTE LTD
FUJITSU GENERAL (ASIA) PTE LTD
FDK SINGAPORE PTE LTD

IHI GROUP COMPANIES

3,500

IHI ASIA PACIFIC PTE. LTD.
JURONG ENGINEERING LTD
NIIGATA POWER SYSTEMS (SINGAPORE) PTE LTD

KIKKOMAN GROUP OF COMPANIES

2,500

KIKKOMAN (S) PTE LTD
KIKKOMAN TRADING ASIA PTE LTD
DEL MONTE ASIA PTE LTD
JFC (S) PTE LTD

MITSUBISHI CHEMICAL GROUP

3,000

MITSUBISHI CHEMICAL APAC PTE. LTD.
MITSUBISHI CHEMICAL SINGAPORE PTE. LTD.
MITSUBISHI TANABE PHAMA SINGAPORE PTE. LTD.
MITSUBISHI CHEMICAL METHACRYLATES SINGAPORE PTE. LTD.

MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES GROUP

2,500

MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES ASIA PACIFIC PTE. LTD.
MITSUBISHI POWER ASIA PACIFIC PTE. LTD.
MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES ENGINE SYSTEM ASIA PTE. LTD.
MITSUBISHI LOGISNEXT ASIA PACIFIC PTE. LTD.

MITSUI CHEMICALS GROUP

5,000

MITSUI CHEMICALS ASIA PACIFIC LTD
MITSUI CHEMICALS SINGAPORE R&D CENTRE PTE LTD
MITSUI ELASTOMERS SINGAPORE PTE LTD
PRIME EVOLUE SINGAPORE PTE LTD
MITSUI PHENOLS SINGAPORE PTE LTD

MOL GROUP COMPANIES (MITSUI O.S.K. LINES. LTD)	4,000
MOL (ASIA OCEANIA) PTE LTD	
MOL CHEMICAL TANKERS PTE. LTD.	
MOL TANKSHIP MANAGEMENT PTE LTD	
PHOENIX TANKERS PTE. LTD.	
MOL LOGISTICS (SINGAPORE) PTE LTD	
M.O. TOURIST (SINGAPORE) PTE LTD	
NIPPON EXPRESS GROUP	3,000
NIPPON EXPRESS (SOUTH ASIA & OCEANIA) PTE LTD	
NIPPON EXPRESS (SINGAPORE) PTE. LTD.	
NX GLOBAL ENGINEERING PTE. LTD.	
NIPPON STEEL SINGAPORE GROUP COMPANY	3,250
NIPPON STEEL TRADING (SINGAPORE) PTE. LTD.	
NIPPON STEEL SINGAPORE PTE. LTD.	
NS SOLUTIONS ASIA PACIFIC PTE. LTD.	
NTT GROUP COMPANIES	5,000
NTT SINGAPORE PTE LTD	
NTT DATA ASIA PACIFIC PTE. LTD.	
NTTF CORPORATION SINGAPORE BRANCH	
NTT DOCOMO ASIA PTE.LTD.	
NYK GROUP COMPANIES	3,000
NIPPON CARGO AIRLINES CO LTD	
YUSEN LOGISTICS (SINGAPORE) PTE LTD	
YUSEN TRAVEL (SINGAPORE) PTE LTD	
NYK GROUP SOUTH ASIA PTE LTD	
OMRON GROUP COMPANIES	2,500
OMRON ASIA PACIFIC PTE LTD	
OMRON ELECTRONICS PTE LTD	
OMRON ELECTRONIC COMPONENTS PTE LTD	
OMRON HEALTHCARE SINGAPORE PTE LTD	
PANASONIC GROUP COMPANIES	3,000
PANASONIC ASIA PACIFIC PTE. LTD	
PANASONIC APPLIANCES REFRIGERATION DEVICES SINGAPORE	
PANASONIC APPLIANCES R&D CENTER SINGAPORE	
PANASONIC INDUSTRIAL DEVICES SINGAPORE	
PANASONIC FACTORY SOLUTION ASIA PACIFIC	
PANASONIC R&D CENTER SINGAPORE	
TOKIO MARINE GROUP	3,000
TOKIO MARINE INSURANCE SINGAPORE LTD	

TOKIO MARINE LIFE INSURANCE SINGAPORE LTD.

TOSHIBA GROUP COMPANIES 3,000

TOSHIBA TEC SINGAPORE PTE LTD

TOSHIBA ASIA PACIFIC PTE LTD

TOSHIBA ELECTRONICS ASIA (SINGAPORE) PTE LTD

SONY GROUP OF COMPANIES 3,000

SONY ELECTRONICS ASIA PACIFIC PTE LTD.

SONY ELECTRONICS (SINGAPORE) PTE LTD.

SONY INTERACTIVE ENTERTAINMENT SINGAPORE PTE LTD

SONY LIFE FINANCIAL ADVISORS PTE LTD

SUMITOMO CHEMICAL & AFFILIATES 5,000

SUMITOMO CHEMICAL ASIA PTE LTD

PETROCHEMICAL CORPORATION OF SINGAPORE (PRIVATE) LTD

THE POLYOLEFIN COMPANY (SINGAPORE) PTE LTD

SUMITOMO CHEMICAL ENGINEERING SINGAPORE PTE LTD

SUMITOMO SEIKA SINGAPORE PTE LTD

SCAS SINGAPORE PTE LTD

SUMITOMO PHARMA ASIA PACIFIC PTE LTD

TAOKA CHEMICAL SINGAPORE PTE LTD

YOKOGAWA GROUP COMPANIES 2,500

YOKOGAWA ENGINEERING ASIA PTE LTD

YOKOGAWA ELECTRIC INTERNATIONAL PTE. LTD.

YOKOGAWA ELECTRIC ASIA PTE LTD

【非会員寄付】

PFU ASIA PACIFIC PTE. LTD. 1,000

TOTAL S\$ 193,150

2022年会員懇親パーティー

本年は12月7日（水）に石川大使を主賓としてお迎えし、3年ぶりに会員懇親パーティーを開催致しました。
沢山の会員企業の皆様の笑顔に支えられ、大盛況の内に終了することが出来ました！





2022年 ラッキードローご提供賞品一覧

(2022年12月8日現在)

※ Price excludes GST and service charge

No.	Company Name	Prize	Price range (excl GST)
1	All Nippon Airways Co., Ltd.	ANA 1 pair of Economy Class Return Air Ticket from Singapore to Tokyo	
2	Japan Airlines Co.,Ltd.	JAL 1 pair of Economy Class Return Air Ticket from Singapore to Tokyo	
3	FUJITSU Asia Pte Ltd	Fujitsu Notebook PC Lifebook U9312	S \$2,000 range
4	Nishimura & Asahi (Singapore) LLP	Hotel Gift Voucher	S \$1,000 range
5	ITOKI Systems (S) Pte Ltd	VERTEBRA 03 Chair	S \$800 range
6	ITOKI Systems (S) Pte Ltd	NONA Chair	S \$800 range
7	SEIKO Manufacturing (Singapore) Pte. Ltd.	SEIKO LUKIA Watch (Ladies Mechanical)	S \$800 range
8	SEIKO Manufacturing (Singapore) Pte. Ltd.	SEIKO PROSPEX Watch (Gents Mechanical)	S \$700 range
9	Canon Singapore Pte. Ltd.	Compact AI Camera PowerShot PICK	
10	JCB International Asia Pacific Pte. Ltd.	Star Island Singapore Countdown Edition 2022-2023 Presented by JCB, VIP Seat Pair Ticket	S \$600 range
11	FUJIFILM Business Innovation Asia Pacific Pte. Ltd.	ASTALIFT Assorted Cosmetics Set	
12	FUJIFILM Business Innovation Asia Pacific Pte. Ltd.	ASTALIFT Assorted Cosmetics Set	
13	Hitachi Asia Ltd.	Hitachi Vacuum Cleaner PV-XL320H	S \$500 range
14	Mitsubishi Chemical APAC Pte. Ltd.	Takashimaya Voucher	
15	Mitsubishi Corporation	Takashimaya Voucher	
16	Mitsui & Co (Asia Pacific) Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
17	Mitsui Fudosan Asia Pte. Ltd.	St. Regis Hotel Room Voucher	
18	Sumitomo Corporation Asia & Oceania Pte. Ltd.	Takashimaya Voucher	
19	Sumitomo Corporation Asia & Oceania Pte. Ltd.	Isetan Voucher	
20	Toyota Motor Asia Pacific Pte Ltd	Golf Bag	S \$400 range
21	Toyota Motor Asia Pacific Pte Ltd	Golf Bag	
22	Mandarin Oriental, Singapore	Saturday Brunch Voucher for 2 persons at Dolce Vita	S \$300 range
23	Mitsui Chemicals Asia Pacific Ltd	Takashimaya Voucher	
24	MITSUI-SOKO Singapore Pte. Ltd.	Takashimaya Voucher	
25	Penta-Ocean Construction Co., Ltd.	Isetan Voucher	
26	ECL (Singapore) Pte Ltd.	Takashimaya Voucher	
27	IHI Asia Pacific Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
28	Industrial Growth Platform Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
29	Jurong Engineering Limited	Isetan Voucher	
30	Kajima Overseas Aisa (Singapore) Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
31	KDDI Asia Pacific Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
32	NEC Asia Pacific Pte Ltd	Isetan Voucher	
33	Nippon Express (South Asia & Oceania) Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
34	Obayashi Singapore Private Limited	Takashimaya Voucher	
35	Sato Kogyo Co Ltd	Takashimaya Voucher	
36	Shimizu Corporation	Isetan Voucher	
37	Sumitomo Chemical Asia Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
38	Sumitomo Mitsui Banking Corporation	Takashimaya Voucher	
39	ENEOS Oil and Energy Asia Pte Ltd	ENEOS Golf balls +Takashimaya Voucher Set	S \$200 range
40	ENEOS Oil and Energy Asia Pte Ltd	ENEOS Golf balls +Takashimaya Voucher Set	
41	Frasers Hospitality Pte Ltd	Capri by Fraser, Bukit Bintang / Malaysia - 2 Night Stay in Studio Deluxe with Breakfast Voucher for 2 persons	
42	Fujikin Singapore Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
43	Hario Asia Pte., Ltd	Assorted Tea Set	
44	Hario Asia Pte., Ltd	Assorted Coffee Drip Set	
45	Hitachi Zosen Corporation (Singapore Branch)	Isetan Voucher	
46	Information Development Singapore Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
47	JFE Steel Asia Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
48	JTB Pte Ltd	GrabGifts Voucher	

No.	Company Name	Prize	Price range (excl GST)	
49	Kanematsu (Singapore) Pte Ltd	Takashimaya Voucher	S \$200 range	
50	Kyocera Asia Pacific Pte Ltd	Bundle Set of Ceramic Tea Mil and Kyocera Tumbler 500ml Cream White		
51	Kyocera Asia Pacific Pte Ltd	Kyocera Kitchen 4-piece Ceramic Knife Set		
52	Kyoritsu Insurance Brokers (Singapore) Pte. Ltd.	Takashimaya Voucher		
53	Mandai Wildlife Group (Singapore Zoological Gardens)	1 pair of Singapore Zoo + Night Safari Admission Ticket (Adult)		
54	Mandai Wildlife Group (Singapore Zoological Gardens)	1 pair of Singapore Zoo + Night Safari Admission Ticket (Adult)		
55	Mandarin Oriental, Singapore	Weekday or Weekend Buffet Dinner Voucher for 2 persons at Melt Cafe		
56	Mitsubishi Electric Asia Pte Ltd	Mitsubishi Electric Electrical Fan + AFF Mitsubishi Electric Cup Polo T-shirt Set		
57	Mitsubishi Electric Asia Pte Ltd	Mitsubishi Electric Electrical Fan + AFF Mitsubishi Electric Cup Polo T-shirt Set		
58	Mitsubishi Electric Asia Pte Ltd	Mitsubishi Electric Electrical Fan + AFF Mitsubishi Electric Cup Polo T-shirt Set		
59	Mizuho Bank, Ltd.	Yamazaki Whisky 12 Year Old (Black Box)		
60	Nitto Denko Singapore Pte Ltd	Stationary Set		
61	NS Solutions Asia Pacific Pte Ltd	Takashimaya Voucher		
62	NTT Singapore Pte Ltd	Takashimaya Voucher		
63	Osaka Gas Singapore Pte Ltd /Osaka Gas Energy Supply and Trading Pte Ltd	Golf Balls + Imabari Hand Towel Set		
64	Panasonic Asia Pacific Pte Ltd	Panasonic 2000W Nanoe Hairdryer - Model : EH-NA65-K605		
65	Panasonic Asia Pacific Pte Ltd	Panasonic 1.8L Microcomputer Jar Rice Cooker - Model : SR-CX188SSH		
66	Panasonic Asia Pacific Pte Ltd	Panasonic Portable nanoe X Generator Air Purifier - Model : F-GPT01ARS (Red)		
67	SBI Ven Capital Pte Ltd	Takashimaya Voucher		
68	Singapore Takada Ind Pte Ltd	Isetan Voucher		
69	Sompo Insurance Singapore Pte. Ltd.	Golf balls		
70	Yakult (Singapore) Pte Ltd	Yakult Cosmetics		
71	Yakult (Singapore) Pte Ltd	Yakult Cosmetics		
72	Yamazaki Mazak Singapore Pte Ltd	Takashimaya Voucher		
73	YS Logistics (S) Pte. Ltd.	MAKITA Cordless Cleaner		
74	YS Logistics (S) Pte. Ltd.	MAKITA Cordless Cleaner		
75	Ajinomoto Singapore Pte. Ltd.	Amino Protein Set		S \$100 range
76	Ajinomoto Singapore Pte. Ltd.	Amino Protein Set		
77	Ajinomoto Singapore Pte. Ltd.	Amino Protein Set		
78	Ajinomoto Singapore Pte. Ltd.	Amino Protein Set		
79	Ajinomoto Singapore Pte. Ltd.	Amino Protein Set		
80	Daifuku Mechatronics (Singapore) Pte. Ltd.	Isetan Voucher		
81	Daifuku Mechatronics (Singapore) Pte. Ltd.	Isetan Voucher		
82	Daifuku Mechatronics (Singapore) Pte. Ltd.	Isetan Voucher		
83	DOU Creations Pte Ltd	Assorted Sholayered Fragrance Gift Set		
84	DOU Creations Pte Ltd	Assorted Sholayered Fragrance Gift Set		
85	Frasers Hospitality Pte Ltd	Capri by Fraser, Johor Bahru / Malaysia - 1 Night Stay in Studio Deluxe with Breakfast Voucher for 2 persons		
86	Frasers Hospitality Pte Ltd	Fraser Place Puteri Harbour Stay Voucher - 1 Night Stay in Studio Deluxe with Breakfast Voucher for 2 persons		
87	Fuji Electric Asia Pacific Pte. Ltd.	Meidiya Voucher		
88	Fuji Electric Asia Pacific Pte. Ltd.	Meidiya Voucher		
89	Fuji Electric Asia Pacific Pte. Ltd.	Meidiya Voucher		
90	Fuji Electric Asia Pacific Pte. Ltd.	Meidiya Voucher		

2022年 ラッキードローご提供賞品一覧

No.	Company Name	Prize	Price range (excl GST)
91	Fuji Electric Asia Pacific Pte.Ltd.	Meidiya Voucher	S \$100 range
92	FUJIFILM Asia Pacific Pte Ltd	FUJIFILM instax mini 11 (Instant Camera) and Film Set	
93	FUJIFILM Asia Pacific Pte Ltd	FUJIFILM instax mini 11 (Instant Camera) and Film Set	
94	IIJ Global Solutions Singapore Pte. Ltd	Isetan Voucher & Chopsticks(x2) & Japanese Folding Fan(x3) Set	
95	Japan Green Hospital Pte Ltd	Isetan Voucher	
96	Japan Green Hospital Pte Ltd	Isetan Voucher	
97	Japan Green Hospital Pte Ltd	Isetan Voucher	
98	JT International Singapore Pte Ltd	BBQ Grill Set	
99	JT International Singapore Pte Ltd	BBQ Grill Set	
100	JT International Singapore Pte Ltd	BBQ Grill Set	
101	JERA Asia Private Limited	Takashimaya Voucher	
102	JERA Asia Private Limited	Takashimaya Voucher	
103	JERA Asia Private Limited	Takashimaya Voucher	
104	Kawasaki Heavy Industries (Singapore) Pte. Ltd.	Kawasaki Assorted Goods Set	
105	Kawasaki Heavy Industries (Singapore) Pte. Ltd.	Kawasaki Assorted Goods Set	
106	Kawasaki Heavy Industries (Singapore) Pte. Ltd.	Kawasaki Assorted Goods Set	
107	Kawasaki Heavy Industries (Singapore) Pte. Ltd.	Kawasaki Assorted Goods Set	
108	Kawasaki Heavy Industries (Singapore) Pte. Ltd.	Kawasaki Assorted Goods Set	
109	Kawasaki Heavy Industries (Singapore) Pte. Ltd.	Kawasaki Assorted Goods Set	
110	Kawasaki Heavy Industries (Singapore) Pte. Ltd.	Kawasaki Assorted Goods Set	
111	Kawasaki Heavy Industries (Singapore) Pte. Ltd.	Kawasaki Assorted Goods Set	
112	Kawasaki Heavy Industries (Singapore) Pte. Ltd.	Kawasaki Assorted Goods Set	
113	Kawasaki Heavy Industries (Singapore) Pte. Ltd.	Kawasaki Assorted Goods Set	
114	Mandarin Oriental, Singapore	Afternoon Tea Voucher for 2 persons at MO BAR	
115	MEIDI-YA Singapore Co (Pte) Ltd	MEIDI-YA Voucher	
116	MEIDI-YA Singapore Co (Pte) Ltd	MEIDI-YA Voucher	
117	Mitsubishi Heavy Industries Asia Pacific Pte. Ltd. / Mitsubishi Power Asia Pacific Pte. Ltd.	Golf Balls & Umbrella Set	
118	Mitsubishi Heavy Industries Asia Pacific Pte. Ltd. / Mitsubishi Power Asia Pacific Pte. Ltd.	Golf Balls & Umbrella Set	
119	Mitsubishi Heavy Industries Asia Pacific Pte. Ltd. / Mitsubishi Power Asia Pacific Pte. Ltd.	Golf Balls & Umbrella Set	
120	Mizuho Bank, Ltd.	Mizuho Golf Balls	
121	MSIG Insurance (Singapore) Pte Ltd	Golf Balls	
122	MSIG Insurance (Singapore) Pte Ltd	Golf Balls	
123	MUFG Bank, Ltd	Golf Balls	
124	MUFG Bank, Ltd	Golf Balls	
125	MUFG Bank, Ltd	Golf Balls	
126	Nisshinbo Singapore Pte Ltd	Isetan Voucher	
127	Nisshinbo Singapore Pte Ltd	Isetan Voucher	
128	Nitto Denko Singapore Pte Ltd	Stationary Set	
129	Nitto Denko Singapore Pte Ltd	Stationary Set	
130	NTC Wismettac Singapore Pte. Ltd.	Assorted COEDO Beer 1 Box	
131	NTC Wismettac Singapore Pte. Ltd.	Assorted COEDO Beer 1 Box	
132	NTC Wismettac Singapore Pte. Ltd.	Assorted COEDO Beer 1 Box	
133	NYK Group South Asia Pte Ltd	"Hikawa-maru" Dried Curry Set	
134	NYK Group South Asia Pte Ltd	"Hikawa-maru" Dried Curry Set	
135	Osaka Gas Singapore Pte Ltd /Osaka Gas Energy Supply and Trading Pte Ltd	Golf Balls + Imabari Hand Towel Set	
136	Osaka Gas Singapore Pte Ltd /Osaka Gas Energy Supply and Trading Pte Ltd	Golf Balls + Imabari Hand Towel Set	
137	PERSOLKELLY Singapore Pte Ltd	UNIQLO Gift Card	

No.	Company Name	Prize	Price range (excl GST)
138	PERSOLKELLY Singapore Pte Ltd	UNIQLO Gift Card	S \$100 range
139	PERSOLKELLY Singapore Pte Ltd	UNIQLO Gift Card	
140	Sansan Global Pte. Ltd.	Golf Balls	
141	Sansan Global Pte. Ltd.	Golf Balls	
142	Sansan Global Pte. Ltd.	Golf Balls	
143	SB Telecom Singapore Pte. Ltd.	GrabGifts Voucher	
144	SKY Perfect JSAT Corporation	Satellite Crayon & Takashimaya Voucher	
145	SKY Perfect JSAT Corporation	Satellite Crayon & Takashimaya Voucher	
146	SKY Perfect JSAT Corporation	Satellite Crayon & Takashimaya Voucher	
147	Sojitz Asia Pte Ltd	Isetan Voucher	
148	Sojitz Asia Pte Ltd	Isetan Voucher	
149	Sojitz Asia Pte Ltd	Isetan Voucher	
150	Sumitomo Chemical Engineering Singapore Pte.Ltd.	Takashimaya Voucher	
151	Sumitomo Mitsui Trust Bank, Ltd	Golf Balls	
152	Sumitomo Mitsui Trust Bank, Ltd	Golf Balls	
153	The Hokuriku Bank, Ltd. Representative Office Registered in Singapore	Takashimaya Voucher	
154	Tokio Marine Insurance Singapore Ltd.	Golf Balls	
155	Tokio Marine Insurance Singapore Ltd.	Golf Balls	
156	Tokio Marine Life Insurance Singapore Ltd.	Golf Balls	
157	Tokio Marine Life Insurance Singapore Ltd.	Golf Balls	
158	Toll Group (Japan Post)	Takashimaya Voucher	
159	Toll Group (Japan Post)	Takashimaya Voucher	
160	Toll Group (Japan Post)	Takashimaya Voucher	
161	Toll Group (Japan Post)	Takashimaya Voucher	
162	Toll Group (Japan Post)	Takashimaya Voucher	
163	Toray International Singapore Pte Ltd	Toray Ceramic Kitchen Knife Set	
164	Toshiba Asia Pacific Pte Ltd	Toshiba Canvio 1TB V10 Portable Hard Drive Set	
165	Toyota Motor Asia Pacific Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
166	Toyota Motor Asia Pacific Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
167	Toyota Motor Asia Pacific Pte Ltd	Takashimaya Voucher	
168	Tsuchiya Singapore Pte. Ltd.	Isetan Voucher	
169	Tsuchiya Singapore Pte. Ltd.	Isetan Voucher	
170	Yamatsune Singapore Pte. Ltd.	Assorted Golf Socks and Cap (5-toe Sneaker Socks, High Socks and Hound Stooth Pattern Cap) Set	
171	Yamatsune Singapore Pte. Ltd.	Assorted Golf Socks and Cap (5-toe Sneaker Socks, High Socks and Hound Stooth Pattern Cap) Set	
172	Yamatsune Singapore Pte. Ltd.	Assorted Golf Socks and Cap (5-toe Sneaker Socks, High Socks and Hound Stooth Pattern Cap) Set	

Free Sample

1	ITO EN Singapore Pte. Ltd.	Oi Ocha (Unsweetened Green Tea) 5 boxes	S \$100 range
2	KIKKOMAN (S) Pte. Ltd.	Tomato Nabe Soup 180 pcs	S \$1000 range
3	KIKKOMAN (S) Pte. Ltd.	Pirikara Nabe Soup 180 pcs	S \$1000 range

多くの会員企業様よりご支援ご協力賜り、誠にありがとうございました。

第621回理事会 議事録

日 時：2022年11月8日（火）12：00～12：30

方 法：日本人会 2階 ポールルーム（オンライン参加あり）

出席者：（敬称略）

（日本人会）会頭：藤

副会頭：河田、土橋、江口、河野、重松

運営担当理事：杉浦、仙波、馬場、村上

理事：神田、小林（一）、富井、藤本、木村、阿部、谷口、中西、稲垣、久保田、杉島、柴田、
澤田、福地

幹事：渡邊

参与：高橋、中西、久富

事務局：梁

（オンライン）副会頭：小林

理事：辻井、佐々木、中條、北村、小出、横山、宮本

計37名

藤会頭が議長となって開会した。

議 事：

1. 前回（第620回）議事録の承認

藤会頭が前回（第620回）の議事録について諮ったところ、異議なく承認された。

2. 審議事項

(1) 「Japan-Southeast Asia Market Forum」への後援名義付与について

梁事務局長より、ジェットロ・シンガポール事務所などが主催する「Japan-Southeast Asia Market Forum」に対するJCCI後援名義の使用申請について、説明があり、内容を諮ったところ異議なく後援名義の付与が承認された。

(2) 入退会について

梁事務局長より1法人会員からの入会申請、1個人会員からの退会申請があったとの説明があり、諮ったところ異議なく承認された。これにより会員数は、法人会員722社、個人会員67名、計789会員となった。

3. 報告事項

(1) 会頭報告、最近および今後の主要行事・会合について

藤会頭から、前回の理事会以降、各部会、委員会の視察会や懇親会、経営相談などが実施されたとの報告があった。

(2) 部会・委員会・基金からの報告

JCCI基金募金委員会の仙波委員長から募金状況、事務局長の梁から「2022年留学生選考・寄付先決定」について、報告があった。

(3) 大使館ならびにジェットロからの報告・連絡事項

- ・日本大使館の高橋公使より、日本の入国規制緩和後、大使館の領事部では、中国人をはじめ在星外国人のビザ申請が増加したため、引き続き混雑であるとの報告があった。
- ・ジェットロの久富所長より、ジェットロ主催セミナーの案内があった。

(4) その他

梁事務局長より、「2022年基金贈呈式・会員懇親パーティー」についての説明、「月報・1月号」の執筆についての依頼があった。

以 上

<入会承認会員一覧（2022年12月理事会）>

会 員 名	格付	備 考
ASUZEROSINGAPORE PTE LTD [法人サービス・IT部会]	C (法人)	Climate Tech company providing a climate cloud platform for measuring, reporting and reducing carbon emissions for enterprises 現地法人（100%日本出資） 設立登記：2022年11月 従業員数：2
KUSIKIN PTE LTD [法人サービス・IT部会]	C (法人)	ASEAN地域におけるデジタル医療の調査・研究。アジアの途上国向けの疾病治療に関するWEBアプリケーション開発 現地法人（100%日本出資） 設立登記：2022年7月 従業員数：1
MEIJI YASUDA ASIA PACIFIC PTE LTD [金融・保険部会]	C (法人)	アジア・パシフィック市場における保険・金融市場調査 現地法人（100%日本出資） 設立登記：2020年2月 従業員数：4

最近の推移：（'20年12月）815会員、（'21年1月）805会員、（'21年2月）801会員、（'21年3月）800会員、（'21年4月）795会員、（'21年5月）796会員、（'21年6月）793会員、（'21年7月）791会員、（'21年9月）789会員、（'21年10月）791会員、（'21年11月）793会員、（'21年12月）793会員、（'22年1月）784会員、（'22年2月）783会員、（'22年3月）782会員、（'22年4月）779会員、（'22年5月）777会員、（'22年6月）779会員、（'22年7月）777会員、（'22年9月）784会員、（'22年10月）789会員、（'22年11月）789会員

Eメールアドレス ご登録・ご変更等のお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より弊所活動にご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

シンガポール日本商工会議所では、Eメールを通じて、セミナーや視察会の他、機関紙「月報」（電子版）のご案内、JCCI基金活動のご紹介など、幅広い情報をお送りさせて頂いております。

法人会員の皆様におかれましては、複数の方のEメールアドレスをご登録頂き、事業へご参加頂けますと幸いです。（何名様でもご登録頂けます。）

敬具

記

<新規登録方法>

- ・ご登録をご希望のEメールアドレスを、info@jcci.org.sgまでお送りください。
メールの件名には「Eメール新規登録」とご記入下さい。

<登録変更方法>

- ・現在、ご登録頂いているEメールアドレスと、新しく送付先にするEメールアドレスを、info@jcci.org.sgまでお送りください。
メールの件名には「Eメール登録変更」とご記入下さい。

<登録削除方法>

- ・削除を希望されるEメールアドレスを、info@jcci.org.sgまでお送りください。
メールの件名には「Eメール削除希望」とご記入下さい。

<本件担当> JCCI事務局（担当：Doris） [E-mail : info@jcci.org.sg](mailto:info@jcci.org.sg) Tel : 6221-0541

アクセス案内

Access

シンガポール日本商工会議所

Japanese Chamber of Commerce & Industry, Singapore (JCCI)

住所
Address

10 Shenton Way, #12-04/05 MAS Building Singapore 079117

電話番号
Telephone

(65) 6221-0541

i 事前登録のご案内

Notice of Pre-registration

MASビルのセキュリティ上の理由から、お越し頂く方全員の事前登録が必要となります。

Due to security reason of MAS Building (Monetary Authority of Singapore), all visitors must be pre-registered prior to their arrival at MAS Building. To facilitate pre-registration, JCCI will need to obtain following details.

- 1 名前(英語) / Your name
- 2 NRIC(The National Registration Identity Card)、FIN(Foreign Identification Number) をお持ちの方は、番号の下4桁。NRIC もしくは FIN番号をお持ちでない方は、パスポート番号。
/ Last 4 characters of your NRIC, FIN number (e.g. 123A). If you do not have NRIC or FIN number, please provide your passport number.
- 3 携帯電話番号 / Mobile Number
- 4 国籍(シンガポール国籍・シンガポール永住権・その他) / Nationality (Singapore Citizen・Permanent Residents・Others)

以上4点をメールもしくはお電話にて、必ず事前にご連絡をお願いいたします。

Please inform your particulars at least a day before your visit.

アクセス Access

電車でお越しの方 By Train

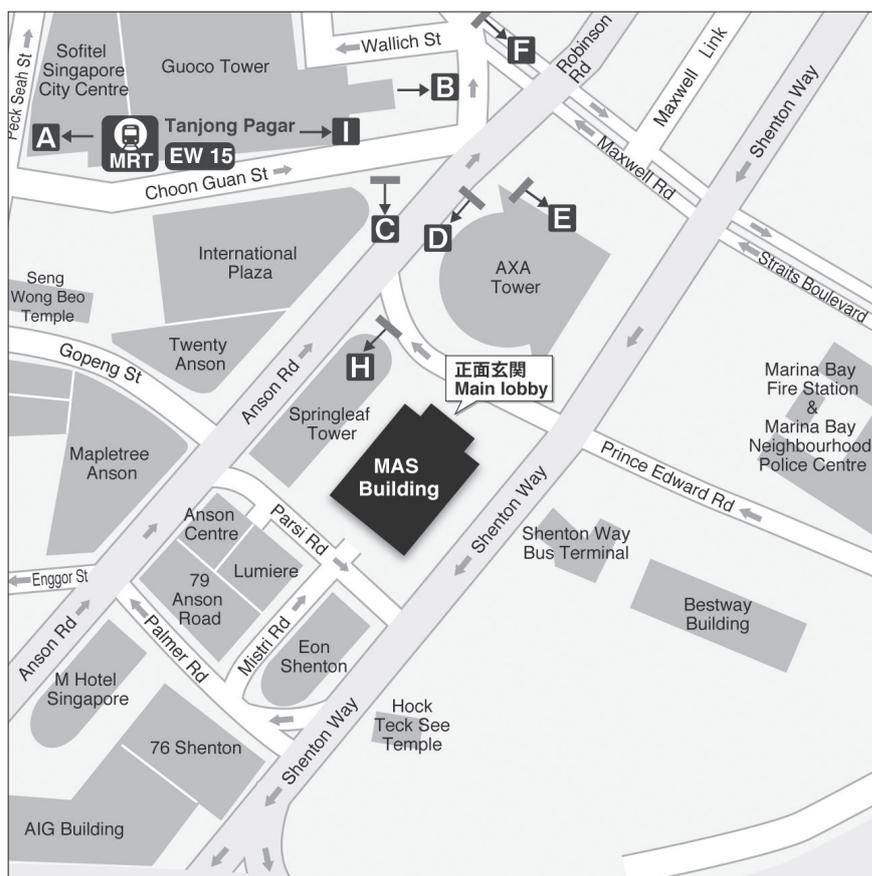
Tanjong Pagar 駅下車 (East West MRT line)
(C/D/H 出口) から徒歩約5分
5min walk from C, D & H
(Tanjong Pagar station, East West MRT line)

車でお越しの方 By Car

MASビルには駐車場がございませんので、お近くの駐車場をご利用下さい。
Please note that public carpark is not available at MAS Building. Kindly find nearest carpark.



地図はこちらからも確認ができます。
You can also check map from here.



11月ー12月 各種イベント写真

11月23日 第二工業部会「シンガポール風水見学会および昼食懇親会」



稲垣部会長（三井化学アジアパシフィック）によるご挨拶



ガイドの安田氏から説明を受ける参加者（シンガポール・シティ・ギャラリー）



集合写真（マーライオン公園）



集合写真（富の噴水前）



集合写真1（ランチ会場にて）



集合写真2（ランチ会場にて）

11月24日 広報委員会



広報委員会の様子



広報委員会の様子2

11月28日 石川大使歓迎会



ご入場される石川大使



会場の様子1



会場の様子2



乾杯の様子



石川大使からのご挨拶



中條会長(三井物産)による乾杯のご挨拶



藤会頭(住友商事)による開会のご挨拶

12月14日 法人サービス・IT部会主催セミナー&懇親会



パネリスト (左からクロール 坂出様、川端様、IGPIシンガポール 坂田様)



会場の様子

月報 January, 2023

編集後記

新年あけましておめでとうございます！

新年も、シンガポール日本商工会議所の機関紙「月報」を最後までお読みいただき有難うございました。また、旧年度も月報をご購読頂きまして、誠に有難うございます。

2022年は新型コロナウイルスの流行と感染予防対策もようやく、一段落を迎えました。公共交通機関や医療施設を除いてマスクの着用も任意となり、海外からの入国者の規制も大半が撤廃されるなど、新型コロナウイルスとの共存体制に移行しました。国際展示会やF1レースなどの大型イベントのリアル開催も復活し、シンガポールの新型コロナウイルス前の姿を取り戻しつつあります。月報の編集を担当する毎月の広報委員の会議も2022年には、リアル開催へと復活しました。2022年オンライン会議の便利さも認識しつつも、実際に顔を合わせる大切さを再認識した人も多いのではないのでしょうか。

2022年にはご多忙な中でも、月報にご寄稿頂いた執筆者の方々には改めて御礼を申し上げます。新年もまた、商工会議所の会員の皆さまに有益な情報を、月報を通じてお伝えしたいと存じますので、引き続きよろしく願い致します。

(編集後記担当：JETRO SINGAPORE 本田 智津絵)



土橋



本田

○名前：土橋 健太郎 (どばし けんたろう)
○出身地：アメリカ合衆国
○会社名：JAPAN AIRLINES CO.,LTD.
○仕事内容：シンガポールにおける支店運営（旅客・貨物販売、総務、空港オペレーション、客室乗員室）の総括
○趣味：映画・音楽鑑賞、ドライブ
○シンガポールで一番素敵だと思うところ：様々な背景があるものの、DX等に基づく革新的な対応がスピーディーに展開されているところ

○名前：本田 智津絵 (ほんだ ちづえ)
○出身地：東京都三鷹市
○会社名：JETRO SINGAPORE
○仕事内容：調査
○趣味：東南アジアの街歩き及び山歩き、パティック収集
○シンガポールで一番素敵だと思うところ：様々な文化に触れて、異なるバックグラウンドの人々とのネットワークが築けるところ

発行

JAPANESE CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY, SINGAPORE
10 Shenton Way #12- 04/05 MAS Building Singapore 079117
Tel: 6221 - 0541 Fax: 6225 - 6197
E-mail: info@jcci.org.sg Web: <http://www.jcci.org.sg>

編集

TOUBI SINGAPORE PTE.LTD.
138 Robinson Road #18-03 Oxley Tower Singapore 068906
Web: <http://www.toubi.co.jp/>

印刷

adred creation print pte ltd
Blk 12 Lorong Bakar Batu #01-01 Singapore 348745
Tel: 6747 - 5369 Fax: 6747 - 5269
Web: <http://www.adredcreation.com/>

< 2023年2月号月報 掲載予定記事一覧 >

- ①ユーザー視点から見る東南アジアの注目スタートアップサービス
DELOITTE TOHMATSU VENTURE SUPPORT CO., LTD.
大平 貴久
- ②日系企業活動の実態
JETRO SINGAPORE 朝倉 啓介
- ③世界が注目するシニアのウェルビーイングとは
VIVID CREATIONS PTE LTD 齋藤 真帆
- ④コロナ禍を通して変化した、設計施工業務の変化と今後
NOMURA DESIGN AND ENGINEERING SINGAPORE PTE. LTD. 芦田 陽

※タイトル及び記事内容については、執筆者の都合により変更される場合があります。

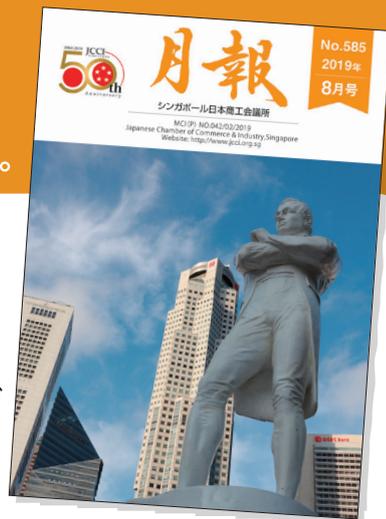
会員の皆様の事業・商品PR支援のため、

機関紙「月報」への広告掲載サービス(有料)を実施しています。

機関紙
「月報」

広告大募集!!

「月報」は会員企業ならびに、シンガポール国内外の公的機関関係者に印刷物として配布しています。またPDF版も作成し、メールでの配信を行っています。



名称

シンガポール日本商工会議所機関紙「月報」

発行

月1回(各月初旬発行)

発行数

約850部(2022年12月現在)

メール配信数

約2,200通(2022年12月現在)

体裁

中綴じ冊子(A4サイズ)

内容

各業界の動向等を取り上げた特集記事、JCCIの活動報告、お知らせ など

広告掲載概要

- 広告は何なたでもご利用いただけます。尚、申込は先着順で受け付けます。
- 1か月単位でご利用いただけます。
- 広告によっては、掲載をお受けできないことがありますので、ご了承ください。

掲載費用

- 年間申込(12か月)時は、1か月分の掲載費を免除いたします。
- GST別途要

掲載箇所	サイズ	色	1発行(会員価格)	1発行(非会員価格)
表紙裏(IFC)	Full Pg	カラー(4C)	S\$800	S\$1,200
裏表紙裏(IBC)	Full Pg	カラー(4C)	S\$700	S\$1,100
裏表紙(OBC)	Full Pg	カラー(4C)	S\$900	S\$1,300
掲載場所指定なし(ROP)	Full Pg	白黒(1C)	S\$500	S\$ 800
掲載場所指定なし(ROP)	Half Pg	白黒(1C)	S\$300	S\$ 500

サービス ご利用の 流れ

1 メールかお電話で、本サービスのご利用希望の旨をご連絡下さい。



info@jcci.org.sg



+65-6221-0541

(担当:小寺)

2 掲載希望月・期間及び掲載箇所・サイズを確認の上、原稿ご提出の締切をご連絡いたします。

※通常、掲載希望月の約1か月前を原稿提出の締め切りに設定させて頂いております。

3 頂きました原稿は、JCCI 広報委員会で内容を確認し、掲載頂ける場合には、請求書を発行いたします。

※原稿内容について、修正をお願いする場合があります。

4 入金確認後、広告を掲載いたします。

本件担当

JCCI事務局(担当:小寺)

お気軽にお問い合わせください。

E-mail

info@jcci.org.sg

TEL

+65-6221-0541

ダイレクトに情報発信しませんか？

WEBバナー広告 大募集

**B12
P11**
キャンペーン
実施中

お得な
特典

B12P11とは？

(Buy 12 months & Pay 11 months)

年間契約で**1か月分無料!**

会員の皆様の事業・商品PR情報を掲載!

メリット

1

宣伝効果

自社のホームページへの誘導ができ、アクセス数のアップが望めます

メリット

2

費用対効果

年間申込時には月々**SGD165**(GST別)と非常に安価(B12P11利用時)

※1月当たりSGD180(GST別)で1か月単位での利用も可

メリット

3

SEOの効果

自社の検索ランキングを上位にあげることができます

JCCIのホームページは、
月あたり約20,000ビュー!



シンガポール日本商工会議所HP (<https://www.jcci.org.sg/>) トップページ

サービスご利用の流れ



info@jcci.org.sgへ
本サービスご利用
希望の旨をご連絡
ください。



申込書をご記入いた
だき、掲載内容を
確認いたします。



バナー広告の掲載
確定後、請求書
(E-invoice) を
お送りします。

本件担当

JCCI事務局(担当:リンゴ)
お気軽にお問い合わせください。

E-mail

info@jcci.org.sg

